

全体講評（日本史）

例年と同様に、問題作成にあたっては高等学校の教科書に準拠し、その学習内容を基本とするよう留意した。2025年度入試における日本史問題の形式と出題方針は、次の(1)・(2)のとおりである。

- (1) 設問数は大問題が4問（Ⅰ～Ⅳ）で、すべてマークセンス方式とした。配点は、大問Ⅰ・Ⅱではそれぞれ小問が10問（20点）、大問Ⅲ・Ⅳではそれぞれ小問が15問（30点）で、合計100点である。ただし、2月5日実施の全学日程2では、法・文・経済・政策創造・人間健康学部を、2月6日・7日実施の全学日程2では法・文・経済・社会・政策創造・人間健康学部を、3教科型【同一配点方式】で受験した場合の配点は、大問Ⅰ・Ⅱがそれぞれ10問（30点）、大問Ⅲ・Ⅳがそれぞれ15問（45点）で、合計150点となる。
- (2) 試験問題は、全時代にわたる政治・経済・社会・文化・対外関係などの各分野から、幅広く出題するように努めた。難易度にも留意し、問題の組み合わせを慎重に検討して、各日程間の平均点に大きな差異が出ないように配慮した。

本年度の入学試験結果から見た受験対策上の注意点は、次の(a)～(e)のとおりである。

- (a) まずは教科書をしっかり読み通し、日本史の流れを正確に把握することが重要である。これを基礎に置き、用語集や図録・図説などによって知識を整理しながら、さらに積み上げることが望ましい。また受験勉強の合間に、博物館や史跡・寺社などを見学することを勧める。自分自身で体感した歴史資料や文化遺産に関する情報は、確実に身につくからである。
- (b) 断片的な知識の暗記だけでは、正答を導くことが難しい。それぞれの時代における政治の動きや社会・経済のしくみ、文化のあり方、および重要な事件や組織・人物の関係、活動時期や作品・著作物、地名などを相互に関連づけて理解することが求められる。日本史の各事象を立体的に把握し、広い視野から歴史の問題を考える習慣をつけておくことが重要である。また、現代に繋がる歴史の理解が深まり、知識の幅も広がるので、日頃から関連するニュースにも親しんでほしい。
- (c) 本年度は、史料問題の正答率は日によって高低があった。史料集に収められた重要史料とその解説に注意を払うことが引き続き重要である。
- (d) 問題文をしっかりと読まず、表面的な理解だけでわかったつもりになり、誤答を選択するものが少なくなかった。問題文の中には正答を導き出すヒントが隠されている場合が多い。問題文を何度も慎重に読み解き、試験時間中に熟考することで、正答に到達するような姿勢を身につけてほしい。
- (e) 歴史的に重要な地名や施設・遺跡などの位置を地図中に探し求める問題の正答率が、本年もかなり低かった。教科書や図録・図説に掲載されている地図・写真・図・表・年表などにはできるだけ目を通し、旧国名とその位置だけでなく、重要な史跡・寺社・文化遺産などの位置についても把握するようにしてほしい。

2025年度入学試験問題

日本史

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5mm以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は60分です。
- V 問題は12ページで大問4問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。
2. マークのしかた
 - (ア) 正しい例
 - a. 解答が1つの場合、例えばイと解答するときは

(1)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-----	-----------------------	----------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

 のように、マークしてください。
 - b. 解答が2つの場合、例えばイとウと解答するときは

(1)	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-----	----------------------------------	----------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

 または

(1)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-----	----------------------------------	-----------------------	----------------------------------	-----------------------	-----------------------

 のように各1つずつマークしてください。
 - (イ) 悪い例
 - (1)

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

 ○印でかこむ。
 - (2)

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

 全部をぬりつぶしていない。
 - (3)

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

 レ印をつける。
 - (4)

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

 |印をつける。
 - (5)

<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

 1欄に2つ以上マークする。

このような記入をしてはいけません。

 3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。
 (1)

<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

 のように×印をしても消したことはありません。
 4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔I〕 次の(A)~(E)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 1863年、薩摩藩と会津藩は公武合体派の公家と協力して、尊王攘夷派の長州藩士や(1)などの7名の公家を追放した。翌年、(2)をきっかけとして、長州藩は勢力の回復をはかって京都に攻めのぼったが、薩摩藩、会津藩、桑名藩など諸藩の兵に敗北した。

(B) 1868年3月、新政府は五箇条の誓文を公布し、政府の基本方針を示した。この草案は由利公正が起草して、福岡孝弟が修正し、最終的に長州藩出身の参与(3)が改訂した。公布された誓文第一条には、「広く会議ヲ興シ万機(4)に決スヘシ」とあり、草案の「列侯会議」は「広く会議」に改められた。

(C) 1894年8月、清に対し正式に宣戦布告した日本は、翌月の(5)で清の北洋艦隊を撃破するなど、軍事的に優位に立った。1895年4月、(6)において、日本全権の伊藤博文、陸奥宗光と清の全権の李鴻章の間で講和条約が結ばれ、遼東半島が日本に割譲されたが、ロシアがフランス・ドイツとともに清への返還を勧告し、日本はこれを受諾した。

(D) 長州閥、陸軍の長老であった(7)は、1925年に立憲政友会総裁となり、1927年には第1次若槻次郎内閣の退陣により、後継内閣を組織した。この内閣は、対中政策では強硬姿勢に転じたが、欧米諸国とは協調外交の方針を維持しようとして、1928年には(8)で不戦条約に調印した。

(E) (9)年12月、日本はアメリカ・イギリスに宣戦布告し、太平洋戦争が開始された。東条英機内閣の商工大臣であった(10)は、1957年になって首相に就任した。この内閣は、1960年に日米相互協力及び安全保障条約(新安保条約)に調印したが、これに反対する大規模デモ(安保闘争)が起こり、条約の発効を見届けて総辞職した。

〔語群〕

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| (ア) 岸信介 | (イ) 経綸 | (ウ) 下関 |
| (ニ) 寺内正毅 | (イ) 岩倉具視 | (カ) 天津 |
| (キ) 田中義一 | (ウ) 坂下門外の変 | (ク) 1941 |
| (ク) 石橋湛山 | (イ) 日本海海戦 | (シ) 木戸孝允 |
| (ク) ワシントン | (セ) 前原一誠 | (ソ) 天地ノ公道 |
| (ク) 1940 | (フ) 池田屋事件 | (ツ) 大久保利通 |
| (ケ) 長崎 | (ト) バリ | (チ) 桂太郎 |
| (ニ) 豊島沖海戦 | (ヌ) 三条実美 | (ネ) 寺田屋事件 |
| (ク) ロンドン | (ウ) 黄海海戦 | (ヒ) 1945 |
| (ク) 公論 | (ハ) 佐藤栄作 | (ホ) 西園寺公望 |

〔Ⅱ〕 次の(A)~(C)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 元禄時代には、東アジアの秩序と幕政が安定して経済がめざましく発展し、公家・僧侶・武士のみならず、一般の町人や地方の商人、また有力百姓に至るまで多彩な文化の担い手が生まれた。

井原西鶴は現実の世相や風俗を背景に、人々が愛欲や金銭に執着しながら、みずからの才覚で生き抜く姿を描き、文学に新しい世界を開いた。これらの作品は(1)草子と呼ばれた。

連歌から分かれた俳諧では、西山宗因の始めた軽妙な談林俳諧が人気を集めた。伊賀の出身である(2)はこれにあきたらず、さび・かるみで示される幽玄閑寂の俳諧を確立して俳諧の文学性を高めた。また、(2)は日本各地を旅して俳諧を広めつつ、自然と人間を鋭くみつめ、すぐれた紀行文を残した。

歌舞伎は当初女性や若者による舞踊が中心であったが、風俗を乱すとして取り締まりを受け、役者は男性ばかりとなった。その後、歌舞伎は演劇として成長を遂げ、元禄時代になると上方には女形の代表とされる(3)が出た。

(B) 明治時代初期には、江戸時代以来の大衆文芸である戯作文学が引き続き人気を博していた。これに対して(4)は明治18年(1885)から翌年にかけて『小説神髓』を発表して、西洋の文芸理論をもとに、人間の内面や世相を客観的・写実的に描く写実主義を提唱した。(5)が参加した硯友社も写実主義を掲げたが、彼らは江戸文芸の伝統を受けついで、人情の機微を描こうとした。

日清戦争前後には、個人の内面に注目し感情・個性の躍動を重んじる(6)主義文学が日本でも盛んとなった。底辺の女性たちの悲哀を『たけくらべ』などの小説に描いた樋口一葉も、(6)主義の運動の影響下にあった。

演劇では江戸時代以来の歌舞伎が人々に親しまれた。歌舞伎作者の(7)は文明開化の風俗を取り入れた新作の歌舞伎を発表した。また、尾上菊五郎ら一部の歌舞伎俳優は官僚や知識人と協力し、江戸時代の歌舞伎を改良して新時代に適合したものとしようとする演劇改良運動を推進した。

- 3 -

(C) 明治時代末期から大正時代にかけて、文学ではさまざまな動きがあらわれた。美を人生の最高の価値とし、美の享受と創造をめざした谷崎潤一郎の(8)派はその一例である。

演劇では明治39年(1906)に(4)らが文芸一般の革新を目的に文芸協会を設立した。文芸協会は明治42年から純然たる演劇団体に改組され、『ハムレット』や『人形の家』などを公演した。この近代劇は新劇と呼ばれ、大正13年(1924)に小山内薫・土方与志らが創設した(9)はその拠点となった。

音楽では洋楽の普及がめざましく、作曲家たちは詩人と協同で多数の学校唱歌や童謡を制作した。(10)は日本交響楽協会を結成した。

〔語群〕

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| (ア) 二葉亭四迷 | (イ) 自由劇場 | (ウ) 自然 |
| (エ) 芳沢あやめ | (ロ) 山田美妙 | (カ) 御伽 |
| (キ) 近松門左衛門 | (ク) 松尾芭蕉 | (ケ) 新感覚 |
| (コ) 人道 | (ク) 鳥村抱月 | (シ) 坂田藤十郎 |
| (ス) 帝国劇場 | (セ) 与謝蕪村 | (ソ) 坪内逍遙 |
| (ク) 外山正一 | (フ) ロマン | (ツ) 耽美 |
| (ケ) 小林一茶 | (ト) 浮世 | (チ) 滝廉太郎 |
| (ニ) 幸田露伴 | (ス) 築地小劇場 | (ネ) 鶴屋南北 |
| (ノ) 白樺 | (イ) 市川團十郎 | (ヒ) 伊沢修二 |
| (ハ) 山田耕伴 | (ヘ) 河竹黙阿弥 | (ホ) 仮名 |

- 4 -

〔Ⅲ〕 次の(A)~(C)の各史料に関する問1~問15について、(ア)~(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) (養老元年四月)壬辰、詔して曰く、「(中略)凡そ僧尼は、寺家に寂居して教を受け道を伝ふ。令に准ずるに云はく、其れ乞食する者有らば、三綱連署して、半⁷¹⁷より前に鉢を捧げて告げ乞へ。此れに因りて更に余の物を乞ふこと得じ、と。方今、小僧行基并に弟子等、街衢⁷¹⁸に零⁷¹⁹疊して妄りに罪福を説く。朋党を合せ構へ、指臂を焚き剥ぎ、^①歴門仮説して強ひて余の物を乞ひ、詐りて聖道を称して百姓を妖惑す。道俗擾乱し、四民業⁷²⁰を棄つ。進みては歌経に違ひ、退きては法令を犯す。(中略)」と。

(天平三年八月癸未)(中略)詔して曰く、「比年行基法師に随逐ふ優婆塞・優婆夷等、法の如く修行する者は、男は年六十一已上、女は年五十五以上、咸く入道することを聴せ。(中略)」と。(中略)

(天平十七年正月)己卯、詔して行基法師を以て大僧正と為す。

問1 下線部①の「街衢」について、この当時最も人口が集中し、行基が布教に力を入れたとされる場所はどこか。

- (ア) 飛鳥浄御原宮 (イ) 藤原京 (ウ) 平城京

問2 下線部②の「法令」について、このとき行基らが違反した「法令」と考えられるのは、次のうちどれか。

- (ア) 養老律令 (イ) 大宝律令 (ウ) 飛鳥浄御原令

問3 行基が晩年に深く関与した事業は、次のうちのどれか。

- (ア) 大仏の造立 (イ) 戒壇院の設置 (ウ) 西大寺の造営

問4 この史料の出典は何か。

- (ア) 『日本書紀』 (イ) 『続日本紀』 (ウ) 『日本後紀』

- 5 -

問5 この史料の内容を述べたものとして、誤っているものはどれか。

- (ア) 養老元年4月には、行基は違法な布教を行ったとして、朝廷から名指して非難された。
 (イ) 天平3年8月には、行基に従う信者の中で、法を守る若者は出家することを許された。
 (ウ) 天平17年正月には、行基は聖武天皇の命令によって大僧正に任命された。

- 6 -

(B) いづれの御時にか。女御・更衣あまたさぶらひ給ひけるなかに、いと、やむごとなき際にはあらぬが、すぐれて時めき給ふありけり。
はじめより「われは」と、思ひあがり給へる御かたがた、めざましき者におとしめそねみたまふ。おなじ程、それより下屬の更衣たちは、まして、安からず。あさゆふの宮づかへにつけても、人の心をのみ動かし、恨みを負ふつもりにやありけむ、いと、あつしくなりゆき、もの心ほそげに里がちなるを、いよいよ「あかずあはれるもの」に思ほして、人の謗りをも、えはばからせ給はず、世の例にもなりぬべき御もてなしなり。

問6 この史料はある有名な作品の冒頭部分である。作品名は何か。

- (ア) 『源氏物語』 (イ) 『枕草子』 (ウ) 『蜻蛉日記』

問7 この作品が著されたと推定される年代は次のどれか。

- (ア) 9世紀中頃～10世紀中頃 (イ) 10世紀末～11世紀前半
(ウ) 11世紀後半～11世紀末

問8 この作品の作者が女房として仕えた中宮とその配偶者は誰か。その組合せとして正しいものを選び。

- (ア) 藤原定子・一条天皇 (イ) 藤原詮子・円融天皇
(ウ) 藤原彰子・一条天皇

問9 また、この作者が女房として仕えた中宮の父が長く任じられた官職は何か。

- (ア) 内覧・左大臣 (イ) 摂政・内大臣 (ウ) 関白・太政大臣

問10 この作者の時代に宮中で行われていた年中行事はどれか。

- (ア) 侘茶・連歌 (イ) 叙位・除目 (ウ) 笠懸・巻狩

(C) (文治元年十一月)十二日辛卯。(中略)凡そ今度の次第、関東の重事たるの間、沙汰の篇、始終の趣、太だ思し食し煩ふの処、因幡前司広元申して云く、「世已に澆季にして、暴悪の者、尤も秋を得るなり。天下に反逆の輩有るの条、更に断絶すべからず。而るに東海道の内には、御居所たるに依て、静謐せしむと雖も、奸濫定めて他方に起らんか。これを相鎮めんが為、毎度、東土を發遣せらるゝは、人々の煩ひなり。国の費えなり。此の次を以て、諸国に御沙汰を交へ、国衙・庄園毎に、守護・地頭を補せられれば、強ちに怖るゝ所有るべからず。早く申し請はしめ給ふべし」と云々。二品、殊に甘心し、此の儀を以て治定す。本末の相応、忠言の然らしむる所なり。

問11 下線部③の「今度の次第」とは、守護・地頭を設置する契機となった出来事をさすが、それは何か。

- (ア) 平家が壇ノ浦の戦いで敗北したが、その残党が逃亡したこと。
(イ) 源義経らが反旗を翻し、朝廷が頼朝追討の旨を出したこと。
(ウ) 奥州藤原氏が滅亡し、平泉までが鎌倉幕府の支配下に入ったこと。

問12 下線部④の「因幡前司広元」は、元暦元年(1184)に鎌倉に設置された機関の長官になっている。この機関は何か。

- (ア) 侍所 (イ) 公文所 (ウ) 問注所

問13 下線部⑤の「東海道」に関連して、鎌倉幕府が置かれた国名はどこか。

- (ア) 相模 (イ) 武蔵 (ウ) 駿河

問14 下線部⑥の「二品」は守護・地頭を設置を認める勅許を得た人物である。それは誰か。

- (ア) 和田義盛 (イ) 北条時政 (ウ) 源頼朝

問15 この史料の出典は何か。

- (ア) 『玉葉』 (イ) 『平家物語』 (ウ) 『吾妻鏡』

〔IV〕 次の(A)~(C)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。また、文中の下線部①~⑤の出来事ほどの時期に起こったものか、下記の年表の(あ)~(お)から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 福島県は旧陸奥国の南部を範囲とする県である。また、この県は東部の浜通り・中央部の中通り・西部の会津という3つの地域に分かれる。たとえば、平安時代後期の建造物で国宝の(1)は、浜通りにある。

鎌倉時代には、中通りの伊達氏や会津の蘆名氏など、関東の武士たちが東北の各地に進出する。このうち伊達氏は戦国大名として成長し、稲宗が「塵芥集」を定めて領国支配の基盤を整えた。天正17年(1589)には伊達政宗が蘆名氏を滅ぼし、会津の地を手に入れている。しかし、翌18年に豊臣秀吉が東北の諸大名を処分し、領地を再配置した結果、政宗は会津を没収された。その後、会津の領主は移り変わるが、保科正之が23万石で入封して以降、その子孫が代々会津(若松)藩主をつとめた。また会津以外では、(2)の子で白河藩主の松平定信が天明7年(1787)に老中となり、幕政の改革を主導した。

明治4年(1871)の廃藩置県により、平(のち磐前)・二本松(のち福島)・若松の3県が成立し、同9年、福島県が磐前・若松両県を併合するとともに旧陸奥国の3郡を宮城県へ、同19年には旧越後国の1郡を新潟県へ移管して、現在の県域がほぼ定まった。

東北での自由民権運動をリードした(3)は、明治14年に福島県会議員となり、第3代の県会議長に就任する。また同年、板垣退助を総理とする自由党の結成に参加した。しかし、翌15年に福島県令となった三島通庸は、会津から山形・新潟・栃木の3県に通じる道路の工事を強行するとともに、自らを批判する(3)らの自由党員を弾圧・投獄した。(3)は同22年に出獄すると、翌23年の第1回衆議院議員総選挙に立候補し、以後14回連続当選して同36年に衆議院議長となった。

(B) 岐阜県は、南部の旧美濃国と北部の旧飛騨国の2カ国をおおよその範囲とする県である。

672年の壬申の乱では、大海人皇子が美濃国に拠点置いて近江国に攻め込み、(4)を破った。また平安時代には、清和源氏の祖である経基王の子の満仲や孫の頼光が美濃守に任ぜられたこともあり、その子孫が美濃国に土着した。なかでも土岐氏は、足利尊氏に従って功を立てたことから、室町時代には代々同国の守護をつとめた。正和2年(1313)、土岐氏の支援を得て夢窓疎石が美濃国の東部に(5)を開創したが、そこには国宝に指定された禪宗様の建造物がある。さらに、天文21年(1552)ごろには守護の土岐氏が家臣の斎藤道三が追放し、稲葉山を居城として美濃国を支配した。その孫の斎藤道三が織田信長が破ると、稲葉山の城下町を岐阜と改称し、天下統一に向けた拠点とした。

他方、飛騨国では、バサラ大名として知られる(6)が守護となって以来、子孫が京極氏を称してその職を世襲した。戦国時代に入ると、京極氏の家臣であった三木氏が勢力を伸ばすが、天正13年(1585)、羽柴(豊臣)秀吉の命を受けた金森長近に滅ぼされた。長近は秀吉より飛騨国を与えられたものの、関ヶ原の戦いでは東軍に属し、その子孫が代々同国を支配する。しかし、元禄5年(1692)に金森氏が羽羽国へ転出すると、飛騨国全体が幕領になった。

旧美濃国は、明治4年(1871)の廃藩置県後に岐阜県となる。一方、旧飛騨国は、廃藩置県で旧信濃国の西部とあわせて筑摩県となったが、同9年に筑摩県が廃止されると、岐阜県に編入されて、ほぼ現在の県域となった。

鉛や亜鉛などを産出する旧飛騨国の神岡鉱山は、明治7年に三井組が買収し、のち三井鉱山や三井金属鉱業が経営した。また、昭和43年(1968)には同鉱山の廃水が原因であるとして、(7)が公害病に認定された。さらに、平成13年(2001)には閉山を迎えるが、同鉱山の地下に設置されたカミオカンデを用いてニュートリノの観測に成功した小柴昌俊は、翌14年にノーベル物理学賞を受賞している。



(C) 高知県は、旧土佐国を範囲とする県である。

平安時代後期あるいは鎌倉時代に信濃国から移り住んだとされる長宗我部氏は、土佐国の中央部で勢力を築いた。また、一条兼良の子で前関白の教房は、京都の戦火をのがれて応仁2年(1468)に土佐国西部の中村へ下向した。その子孫は現地に土着して勢力をふるうが、長宗我部元親に追放された。その後土佐国内を統一し、さらに四国全土を制覇した元親も、羽柴(豊臣)秀吉に攻められて降伏し、土佐一国のみを安堵された。なお、^④スペイン船のサン=フェリペ号が土佐国に漂着したが、この事件は、秀吉に^⑤キリスト教への警戒心を抱かせ、26聖人の殉教につながったという。

元親の子である長宗我部盛親が関ヶ原の戦いで西軍に属して改易されると、土佐国は山内一豊に与えられた。一豊は高知城を築城し、その子孫が代々土佐(高知)藩主として同国を支配する。また、一豊の妹の孫にあたる(8)は、谷時中に学んだ朱子学をいかしつつ、家老(奉行職)として新田開発や殖産興業などに努め、藩政の基礎を固めた。

15代藩主の山内豊信は公武合体論を支持したが、將軍継嗣問題で一橋派として活動したことから安政の大獄で処罰され、隠居して容堂と号した。これに対して、文久元年(1861)には武市瑞山らが土佐勤王党を結成し、尊王攘夷運動を展開するが、大獄後に土佐へ帰ってきた容堂に弾圧された。また、勤王党の結成時に参加していた吉村虎(寅)太郎は、同3年、尊王討幕を目的として(9)の幕府代官所を襲撃する。そして、戊辰戦争が起こると、土佐藩士の板垣退助らが活躍した。

明治4年(1871)の廃藩置県では土佐(高知)藩の全域が高知県となり、同9年に編入した旧阿波国が同13年に徳島県として分離されることで、現在の県域が確定する。

明治6年の征韓論争に敗れて下野した板垣は、翌7年に民権議院設立建白書を左院へ提出するが、十分な成果を得られなかった。そこで、高知に帰って立志社を創立したが、これは自由民権運動の一つの中心となる。同14年、政府が国会開設を決定すると東京で自由党が結成されたが、その総理には板垣が就任し、幹部の多くも高知県出身者が占めた。同23年には議会が開かれ、同31年

には板垣も入閣した最初の政党内閣が成立した。昭和2年(1927)に立憲民政党の初代総裁となり、同4年に内閣を組織した(10)も高知県の出身である。

〔語群〕

- | | | |
|------------|--------------|---------------|
| (ア) 草壁皇子 | (イ) 今川貞世(了俊) | (ウ) 星亨 |
| (エ) 犬養毅 | (ロ) 山崎闇斎 | (カ) 加藤高明 |
| (キ) 水俣病 | (ク) 常陸国筑波山 | (ケ) 富貴寺大室 |
| (コ) 野中兼山 | (ク) 一橋宗尹 | (セ) 田安宗武 |
| (ク) 浜口雄幸 | (セ) 但馬国生野 | (ソ) 山鹿素行 |
| (ケ) 高師直 | (ト) 大友皇子 | (ツ) 永保寺 |
| (コ) 清水重好 | (ト) 安楽寺 | (チ) 河野広中 |
| (カ) 片岡健吉 | (ニ) 白水阿弥陀堂 | (テ) ぜんそく |
| (キ) 中尊寺金色堂 | (イ) 大津皇子 | (ヘ) 佐々木高氏(尊登) |
| (ク) 円覚寺 | (ロ) 大和国五条 | (ホ) イタイイタイ病 |

《年表》

1531年	【おもしろさうし】の第1巻が編纂される (ア)
1543年	種子島に鉄砲が伝わる (イ)
1582年	天正遣欧使節団が出發する (ウ)
1593年	天草版『伊曾保物語』が刊行される (エ)
1627年	吉田光由が『塵劫記』を著す (オ)
1654年	隠元隆琦が黄檗宗を伝える (カ)

(以上)

2025年度入学試験問題

日本史

注意事項

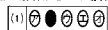
- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)(シャープペンシルは、HB 0.5mm以上の芯であれば使用可)で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は60分です。
- V 問題は14ページで大問4問です。



マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆で次の正しい例のように、速く正確にぬりつぶしてください。


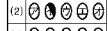


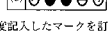
2. マークのしかた

(ア) 正しい例

a 解答が1つの場合。例えばイと解答するときは
 のように、マークしてください。

b 解答が2つの場合。例えばイとウと解答するときは
 または  のように各1つずつマークしてください。

(イ) 悪い例

	○印でかこむ。	このような記入をしてはいけません。
	全部をぬりつぶしていない。	
	レ印をつける。	
	丨印をつける。	
	1欄に2つ以上マークする。	

3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。
 のように×印をしても消したことはありません。

4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔I〕 次の(A)~(D)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 鎌倉時代には、公家の伝統的な文化と、新たに政治の担い手となった武士の文化が併存した。公家たちは、過去の栄華を懐かしみ尊重する思いから、朝廷の儀式や先例を研究する有職故実の学を深めた。順徳天皇が著した『(1)』に、その成果を見ることができる。一方、武士たちも学問の重要性を意識するようになり、北条氏一門の有力武家が鎌倉の外港六浦に設けた(2)は、関東一円の学問の拠点となった。

(B) 織田信長や豊臣秀吉が政権を掌握した時代には、ヨーロッパの国々との接触が盛んになり、さまざまな文化がもたらされた。イエズス会の宣教師らは、布教活動の一環として初等教育学校のセミナリオや高等教育学校のコレジオを設けた。そのなかの(3)は西洋の活版印刷機をもたらし、それによりポルトガル式のローマ字で表記された各種の書物が出版された。辞書としては、1603~04年に長崎で出版された『(4)』が知られる。また、このころヨーロッパからもたらされた文物のなかには、ポルトガル語を語源とする(5)など、現在でも日本語として用いられているものもある。

(C) 江戸幕府による支配が安定し、武力に頼らず儒教をもとに徳をもって治めようとする文治政治の時代になると、儒学が盛んになり、いくつかの学派が生まれた。朱子学派の一派(6)の祖、藤原惺窩の門人だった林羅山は、徳川家康の侍講となり、その後も林家は代々幕府の文教政策で重用された。また、実践による認識を重んじる陽明学派の熊沢蕃山は、著書の『(7)』で幕政を批判したことから弾圧され、幽閉先で病死した。さらに、孔子や孟子の原典に儒教の本質を見出そうとした古学派の(8)は、将軍徳川吉宗に重用され、享保の改革で大きな役割を担った。

(D) 8代将軍徳川吉宗の時代には、漢訳洋書の輸入制限がゆるめられた。これにより、オランダからもたらされる西洋の学術や知識を研究する蘭学が発達し、学問に実証的・科学的な意識が加わる。一方で、日本の古典を研究する国学も台頭し、堀保己一は幕府の援助を受けて(9)を設け、古代から近世までの国書の編纂を行った。また、この頃から全国の藩で藩士やその子弟の教育のため藩校が設立された。さらに、大坂では裕福な町人の出資により(10)が開設され、教育の対象は庶民にも広がった。

〔語群〕

- | | | |
|--------------|---------------|-----------|
| (ア) 金沢文庫 | (イ) 聖学 | (ウ) 蘭学階梯 |
| (エ) 出定後語 | (オ) 大学或問 | (カ) 和学講談所 |
| (キ) ヴァリニャーノ | (ク) 古義堂 | (ケ) ハルマ和解 |
| (コ) 昌平坂学問所 | (カ) ジャガイモ | (シ) 公事根源 |
| (ク) プリキ | (セ) 日葡辞書 | (ソ) 蕃書調所 |
| (ケ) 聖教要録 | (フ) 禁秘抄 | (ツ) 室鳩巢 |
| (コ) 北山抄 | (ト) 芝蘭堂 | (チ) 京学 |
| (ク) ルイス=フロイス | (ナ) 閑谷学校 | (ネ) カルタ |
| (ケ) 南学 | (ニ) ガスパル=ヴィレラ | (ヒ) 荻生徂徠 |
| (コ) 懐徳堂 | (ノ) 中江藤樹 | (ヘ) 足利学校 |

〔Ⅱ〕 次の(A)・(B)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 弥生時代には、水稲農耕が普及し、農耕社会が形成されたが、一方で余剰生産物や耕地、用水などをめぐって戦いが始まった時代でもあった。

金属製の武器や防御施設を備えた集落が出現し、戦いが始まったことが、発掘された資料などから明らかになっている。例えば、「環濠集落」と呼ばれる、深い濠や土塁で囲んだ防衛的集落として、佐賀県吉野ヶ里遺跡や奈良県(1)遺跡などが著名である。また、西日本の各地で戦いによる傷が残る人骨が発見されていることは、これを裏付けている。

戦いの始まりによって、強力な集落は周辺の集落を統合し、各地に「クニ」と呼ばれる政治的なまとまりが分立していった。この小国分立の様子は、中国の歴史書にも記載されている。『漢書』地理志によると、紀元前1世紀ごろの「倭人」の社会は(2)余国にわかれ、漢(前漢)が現在の平壤付近に設けた(3)に定期的に使者を派遣していたという。『後漢書』東夷伝によると、紀元後1世紀に倭の奴国の王が後漢に朝貢し、光武帝より印綬を賜ったとある。この奴国の王墓の一つと考えられるのが、福岡県(4)遺跡である。

戦いはその後も続いたと考えられるが、2世紀後半に大きな争乱が起こった。諸国は共同して邪馬台国の卑弥呼を女王として立てたところ、ようやく争乱はおさまり、ここに邪馬台国を中心とする連合体をつくったことが、『魏志』倭人伝に記載されている。卑弥呼は「鬼道(呪術)」にたくみで、夫はなく、弟が政治を補佐していたとある。晩年には(5)と争ったが、247年かその直後には亡くなったとみられる。

邪馬台国の所在については、大きく九州説と近畿説がある。近畿説の主張には、卑弥呼の墓と考えられる奈良県箸墓古墳がある纏向遺跡を邪馬台国とみることや、卑弥呼が魏から贈られた銅鏡を三角縁神獣鏡とみて、これが近畿地方から最も多く出土していることなどが挙げられている。三角縁神獣鏡のなかには、卑弥呼が魏に使者を送った年である「景初三年(239)」の銘を持つものがある。

- 3 -

大王権力の拡大に対しては、地方豪族の抵抗もあった。とくに大規模なものとして、古墳時代後期の6世紀初めに起こった磐井の乱がある。このような地方豪族の抵抗を排しながらヤマト政権は彼らに従属させ、各地に直轄領や直轄民を設けて支配を強化していった。

〔語群〕

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| (ア) 三雲南小路 | (イ) 百舌鳥・古市 | (ウ) 楽浪郡 |
| (カ) 横穴式石室 | (キ) 帯方郡 | (ク) 三十 |
| (ケ) 唐古・鏡 | (コ) 岩戸山古墳 | (ク) 池上曾根 |
| (コ) 濟 | (カ) 宇木汲田 | (シ) 連 |
| (セ) 佐紀 | (セ) 百 | (ハ) 大和 |
| (ソ) 岡田山1号墳 | (ヤ) 君 | (ツ) 狗奴国 |
| (テ) 投馬国 | (ト) 讚 | (チ) 堅穴式石室 |
| (ニ) 大塚 | (ス) 横穴式石室 | (ネ) 臣 |
| (ノ) 稲荷台1号墳 | (ヘ) 須玖岡本 | (ヒ) 五十 |
| (フ) 伊都国 | (ヘ) 玄菟郡 | (ホ) 武 |

- 5 -

(B) 古墳時代前期の3世紀後半ごろ、近畿地方から瀬戸内海沿岸にかけての西日本を中心に、前方後円墳と呼ばれる大規模な古墳がつくられるようになった。これら出現期の古墳は、墳丘の形、(6)という埋葬施設の構造、銅鏡や石製品などの副葬品などに強い共通性を持っていた。このような共通する墓制の背景には、古墳の出現に先立って広域の政治的連合が形成されていたことがある。また、出現期の古墳のなかでも最も規模の大きなものは、大和(現在の奈良県)にみられることから、この時期に大和の首長たちを中心とする広域の政治的連合であるヤマト政権が成立していたと考えられる。そして、前方後円墳を中心に、古墳の形や規模は、ヤマト政権内での政治的地位を反映しているとの見解もある。

古墳時代中期の5世紀には、大坂平野につくられた巨大な前方後円墳である、誉田御廟山古墳(応神天皇陵古墳)や大川古墳(仁徳天皇陵古墳)を含む(7)古墳群において、当時のヤマト政権の権力や権威の大きさをうかがうことができる。中期の巨大な前方後円墳は、このほかに群馬県(上毛野)や岡山県(古備)、宮崎県(日向)などにみられ、これらの地域の豪族がヤマト政権のなかで重要な位置を占めていたことがわかる。5世紀前半に築造された群馬県太田天神山古墳は、全長約210メートルの東日本最大の前方後円墳である。

倭王(8)が中国南朝に送った上表文(『宋書』倭国伝)は、ヤマト政権と地方との関係がうかがえる史料である。これによると、5世紀にヤマト政権の勢力圏が東西に大きく広がったことがわかる。また、埼玉県稲荷山古墳や熊本県江田船山古墳から出土した鉄剣や鉄刀の銘文からは、5世紀後半には大王の権力がこれらの古墳が所在する東国から九州にまでおよんでいたことが読み取れる。

さらにヤマト政権は、5世紀から6世紀にかけて、氏姓制度と呼ばれる政治体制を作り上げていった。豪族たちは血縁関係やその他の政治的関係にもとづいて氏に編成され、氏単位にヤマト政権の職務を分担し、大王は彼らに姓(カバネ)を与えた。例えば、職掌を氏の名とした大伴・物部などの有力豪族には(9)が与えられた。これらの姓の実例としては、6世紀ごろの(10)出土大刀の銘文にみられる「各田日臣(額田部臣)」の文字がある。

- 4 -

〔Ⅲ〕 次の(A)～(C)の各史料に関する問1～問15について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) 金本位実施ノ必要モハヤ疑ヲ容レズ。依テ爾米専ラ金吸収ノ方策ヲ求メタリ。恰モ好シクシテノ関条約ニ依リ清國ハ償金(①)億兩ヲ支払フコトヲ約セリ。然ルニ清國ハ償金支払ノ為メ公債ヲ歐洲ニ於テ募集スルノ必要アルヲ以テ、彼我ノ便益ヲ計リ償金ハ(②)京ニ於テ金貨ヲ以テ受取ルコトニ追約セリ。茲ニ於テ金ノ吸収ニハ非常ノ便益ヲ得タリ。(中略)金本位ノ実施ハ歐米諸國貨幣市場ノ中心ト我國市場トヲ連絡セシメ、相互ノ間氣脈ヲ通スルノ便ヲ開キ貿易ノ發達シテ倭ツハキナリ。而シテ支那朝鮮等ノ銀國ニ対シ金貨國ト競争ヲ為スニ於テ、我ハ地形ノ接近其他生産上必要ナル事項ニ富メルヲ以テ深ク憂フルニ足ラサルヘシ。之ニ反シテ他日若シ銀價ノ下落一層甚シキニ至ルトキハ、支那朝鮮等ノ銀國ハ金貨國ニ対スル輸出貿易上多少競争ノ利ヲ占ムル所アルハ免レサルヘキモ、之レ亦一時止リ、幣制改革ニ依テ生スル利益ト比較スルニ足ラサルナリ。之ヲ要スルニ貨幣ノ基礎今日ノ如ク動揺常ナクシテハ、決シテ經濟ノ確実ト貿易ノ發達トハ望ムヘキニアラス。

(『日本金融史資料 明治・大正編』)

問1 この史料は、1897年2月の閣議で当時の首相兼蔵相が貨幣法案の提出理由を述べたものである。その首相兼蔵相は誰か。

- (ア) 伊藤博文 (イ) 松方正義 (ウ) 大隈重信

問2 文中の(①)に入る語句はどれか。

- (ア) 毫 (イ) 式 (ウ) 參

問3 文中の(②)に入る語句はどれか。

- (ア) 英 (イ) 仏 (ウ) 独

- 6 -

問4 下線部③「朝鮮」に関連して、この1897年に国号を「大韓帝国」と改めて、皇帝となった国王は誰か。
(ア) 大院君 (イ) 高宗 (ウ) 純宗

問5 日本は貨幣法により金本位制を採用したが、やがてこれを離脱する。それはいつか。
(ア) 1907年 (イ) 1917年 (ウ) 1927年

(B) 謹んで「惟るに、我が神州たる所以は万世一系たる天皇陛下御統帥の下に、挙国一体生成化育を遂げ、遂に八紘一宇を完うするの国体に存す。此の国体の尊厳秀絶は天祖肇国、(④)建国より明治維新を経て益々体制を整へ、今や方に万邦に向けて開頭進歩を遂ぐべきの秋なり。然るに頃來遂に不逞凶悪の徒族出して私心我欲を恣にし、(中略)随って外侮外患日を遂うて激化す。所謂元老・重臣・軍閥・財閥・官僚・政党等は此の国体破壊の元兇なり。(⑥)軍縮条約、並に教育總監更迭に於ける統帥権干犯・至尊兵馬大権の借窃を図りたる三月事件、或は学匪、共匪、大逆教団等の利害相結んで陰謀至らざるなき等は最も著しき事例にして(中略)中岡、佐郷屋、血盟団の先駆持身、五・一五事件の憤騰、相沢中佐の閃発となる、寔に故なきに非ず。(中略)内外真に重大危急、今にして国体破壊の不義不臣を誅戮し、稜威を遮り御維新を阻止し来れる奸賊を安除するに非ずして宏議を一空せん。

(『現代史資料』)

問6 この史料は、二・二六事件の蹶起趣意書である。この事件で皇道派青年将校らの襲撃を受けたが、難を逃れた当時の首相は誰か。
(ア) 岡田啓介 (イ) 米内光政 (ウ) 鈴木貫太郎

問7 文中の(④)に入る語句はどれか。
(ア) 天智 (イ) 仁徳 (ウ) 神武

- 9 -

問11 この史料は、沖縄返還に関する日米共同声明に対して、屋良朝苗が発した声明である。当時の屋良が務めていた職はどれか。
(ア) 沖縄県知事 (イ) 琉球政府行政主席 (ウ) 内閣官房長官

問12 下線部⑥「核ぬき」に関連して、「非核三原則」を掲げた首相は誰か。
(ア) 岸信介 (イ) 池田勇人 (ウ) 佐藤栄作

問13 下線部⑨「B 52」は、ベトナム戦争に際して沖縄に常駐化したアメリカの長距離爆撃機である。この戦争でアメリカが支持した国家・勢力はどれか。
(ア) 北ベトナム (イ) 南ベトナム解放民族戦線 (ウ) 南ベトナム

問14 文中の(⑩)に入る語句はどれか。
(ア) 事前 (イ) 随時 (ウ) 事後

問15 下線部⑪「返還後の米軍基地の問題」に関連して、2009年の衆議院議員総選挙で民主党が自由民主党に圧勝した後、普天間基地の県外移設に取り組んだものの、断念に至った首相は誰か。
(ア) 鳩山由紀夫 (イ) 菅直人 (ウ) 野田佳彦

- 9 -

問8 下線部⑤「財閥」に関連して、当時は明治期以来の財閥に対し、軍部と結びついて満洲・朝鮮に進出する新興財閥も台頭していた。そのうち、鮎川義介が結成したコンツェルンはどれか。
(ア) 日産 (イ) 日窒 (ウ) 日曹

問9 文中の(⑥)に入る語句はどれか。
(ア) 倫敦 (イ) 華盛頓 (ウ) 寿府

問10 下線部⑦「学匪」に関連して、二・二六事件の前年に天皇機関説問題で貴族院議員を辞任した憲法学者は誰か。
(ア) 菊池武夫 (イ) 上杉慎吉 (ウ) 美濃部達吉

(C) 祖国の民主平和憲法のもとへの即時無条件全面返還を要求しつづけた県民の立場に立つて考えるとき、今回の日米共同声明の内容には満足しているものではない。

一、その第一は「核ぬき、本土なみ、七二年返還」で所期の目的を達成したというが核基地撤去、B 52の扱い、その他(⑩)協議の運用をめぐることで憂慮される問題を残していることである。第二は沖縄の米軍基地を要とした現在の日米安保条約を長期的に継続する方針がとられたことである。沖縄県民はさる大戦で悲惨な戦争を身をもって体験し戦争とこれにつながるいっさいのものをにくみ、否定する。長い間米軍基地に苦しめられてきた県民は、その沖縄基地を要とする安保体制を容認することはできない。(中略)

一、第三は沖縄の全地域にわたって配備された強大な米国の軍事基地は、施政権返還後もほとんど、そのまま維持されるようになるということである。従って、基地の密度や規模などからして、基地の「本土なみ」返還ということには疑問と不安が残る。(中略)返還後の米軍基地の問題は単に沖縄県民だけでなく、日本国民全体がみずからの運命を決定する重大な課題として、真剣に取組まなければならない。

(『朝日新聞』)

- 8 -

〔IV〕 次の先生と学生の会話文の(1)～(15)について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

先生：新型コロナウイルスの流行もようやく下火になって、高校や大学の授業もほぼコロナ前に戻りました。3～4年間抑えられていた旅行需要が大きくなり伸びています。円安の影響もあって、海外から来日する旅行者の数も一気に増えてきました。

学生A：大学へ通う電車の中や駅プラットフォームでも、外国人観光客の姿をみかけることが多くなりました。

学生B：いわゆるインバウンド観光が好調で、日本を訪れる外国人旅行者が急増しているんですね。

学生C：外国人観光客とくに人気が高い観光地があり、その観光地の周辺はすごく混み合っていて、交通渋滞も激しくなっています。

先生：とくに人気の高い観光地はどのあたりですか。

学生C：やっぱり京都の伏見稲荷大社の人気すごいですね。

学生B：先月、友人と一緒に行ってきたのですが、大勢の外国人観光客が押し寄せていました。

先生：そうだね。とくに朱色の千本鳥居の立ち並ぶ景色が目を引くようで、とてもメジャーな観光名所となっているね。ところで、伏見稲荷大社と関係の深い古代の氏族のことは知っていますか。

学生A：古代の山背(山城)国には、渡来系氏族の(1) (ア) 秦氏 (イ) 漢氏 (ウ) 文氏)が本拠地をもっていました。

学生B：現在の嵐山や深草のあたりに住みついて繁栄していたのですね。古くはこの氏族が伏見稲荷大社の祭祀をつかさどっていたといわれています。

先生：そう、よく知っているね。その豊かな財力によって、6世紀には朝廷財政の運用にも関与したようだ。

学生C：嵐山の近くにある(2) (ア) 仁和寺 (イ) 大覚寺 (ウ) 広隆寺)はこの氏族の氏寺だったのですね。

先生：そう、美しい半跏思惟像が安置されていることでも有名だよ。

- 10 -

学生B：京都では清水寺も外国人観光客に大人気の場所ですね。

学生C：清水寺は延鎮が創建した寺院ですが、延鎮に帰依して清水寺の整備に尽力したのは(3){(ア) 藤原冬嗣 (イ) 坂上田村麻呂 (ウ) 文室綿麻呂}です。

学生A：桓武天皇の時代に東北地方に遠征して、朝廷の領土を大きく広げた人物ですね。

先生：そうだよ。清水寺から少し離れた場所にその人物のお墓も建てられたよ。2007年にはその場所も特定されて、新聞でも報道されました。

学生B：清水寺は災害や戦乱で何度も損壊しているの、創建当初の建物はあまり残されていないのですね。

学生C：崖に沿って建てられている巨大な本堂は江戸時代のものでよね。

先生：大きな舞台をもつ懸造の本堂は、寛永10年(1633)に將軍徳川(4){(ア) 家康 (イ) 秀忠 (ウ) 家光}の援助で造営されたものです。

学生A：年末の「今年の漢字」を発表する場所としても有名になりました。

学生B：大阪にも外国人観光客が押し寄せる場所がたくさんありますね。

学生C：5月の連休に大阪城に行きましたが、すごい人波で身動きするのも大変でした。大阪城は豊臣秀吉が天正11年(1583)から築きはじめたものです。

学生A：(5){(ア) 山崎の戦い (イ) 賤ヶ岳の戦い (ウ) 小牧・長久手の戦い}によって、秀吉が織田信長の後継者としての地位を確かなものにした年に築城をはじめたのですね。

先生：そう、大阪本願寺の跡地に本丸と二の丸を造営したとみられています。

学生A：大阪城の天守閣は大阪夏の陣で焼亡し、その後には再建された天守閣も落雷で焼失したらしいですが、大阪城の場所は明治維新後にどうなったのですか。

学生B：明治4年(1871)、大阪城の跡地に大阪(6){(ア) 鎮台 (イ) 府庁 (ウ) 鎮守府}が設置されました。

先生：その通り。その後、明治21年(1888)には第四師団に継承されました。現在の大阪城天守閣が再建されたのは、昭和6年(1931)のことです。

学生A：その昭和6年に、いまでも大阪城天守閣のそばにある建物が、第四師団の

- 11 -

先生：そうだね、日本の文化遺産も諸外国のさまざまな文化から影響を受けて形作られたことを意識しないといけないね。

学生A：両親の実家が金沢なので、夏休みには金沢に行きますが、最近はやはり外国人観光客が増えています。とくに加賀藩の庭園として名高い(11){(ア) 後楽園 (イ) 偕楽園 (ウ) 兼六園}が人気です。

学生C：5代藩主の前田(12){(ア) 綱紀 (イ) 利家 (ウ) 利常}が蓮池庭を整備し、12代藩主の前田齊広が拡張して、現在のような回遊式の大庭園となりました。

学生C：(12)は学芸を好み、書籍の収集につとめた藩主で、木下順庵・室鳩巢らの学者を招いたことでも有名です。

先生：そう、よく知っているね。[(13)]{(ア) 経済録 (イ) 庶物類纂 (ウ) 大和本草}を著した桶生若水もこの藩主の時代に儒者として召し抱えられているよ。

学生B：関西やその周辺でもこのような賑わいなので、東京にも多くの外国人観光客が押し寄せているのですね。

学生C：先日、実習で東京に行ったときにそれは実感しました。とくに浅草寺あたりでは写真撮影をする人垣ができていました。

先生：浅草寺には江戸時代から仲見世(門前町)が発達していて、見世物小屋などもできて人びとが集まる娯楽街になっていたようだ。

学生A：明治以後は東京市の公園が整備されて、映画館や演劇場の集まる浅草六区は盛況をきわめたというよ。

学生B：(14){(ア) 川端康成 (イ) 谷崎潤一郎 (ウ) 永井荷風}が著した『浅草紅団』には、関東大震災後の浅草の風俗が描かれています。

学生C：新感覚派を代表する大阪生まれの作家だね。

先生：そう、浅草は戦前・戦後を通じて大衆文化の中心地として発展したんだ。(15){(ア) 美空ひばり (イ) 川上音二郎 (ウ) 榎本健一}は浅草で人気を博し、のちに一座を結成してミュージカルなどで活躍して、喜劇王と呼ばれた。

学生A：笠置シズ子と共演したことも有名です。NHKの連続ドラマでもやっ

- 13 -

司令部として建てられたのですね。

学生B：戦後は長く博物館になっていましたが、最近は飲食店などが入る施設にリノベーションされています。

学生C：大阪では道頓堀も人気の高い観光地ですね。

先生：道頓堀は、江戸時代のはじめに開削された東西方向の運河だよ。その後、ここに芝居小屋がたくさん建てられて、大坂随一の盛り場となっていった。

学生C：古代には海が御堂筋あたりまで迫っていて、現在の淀屋橋の付近は大阪湾に面した風光明媚な場所だったと聞いています。

学生A：大阪城が位置する上町台地の北端近くには、7世紀中ごろに(7){(ア) 推古 (イ) 舒明 (ウ) 孝徳}天皇が都を置きました。

学生B：その都の跡は戦後に発見され、大阪城公園のすぐ南側に建物などが復元されています。

学生C：奈良では奈良公園に多くの人が集まっています。外国人観光客には東大寺の大仏が人気です。聖武天皇は最初、(8){(ア) 恭仁京 (イ) 紫香楽宮 (ウ) 難波宮}において大仏を造立しようとしたのですが、結局は平城京に戻ったのちに、京の東郊に東大寺を建て、ここに大仏を鑄造しました。

先生：そう、よく知っているね。天平勝宝4年(752)に行われた大仏開眼供養会では、渡来僧の(9){(ア) 道隆 (イ) 菩提提那 (ウ) 鑑真}が開眼師となり、大仏の眼に黒目を書き入れました。

学生C：奈良の大仏や大仏殿は源平争乱期に焼損しますが、その復興に尽力したのは重源という僧です。

学生A：重源は(10){(ア) 北宋 (イ) 南宋 (ウ) 元}から陳和卿という技術者を招いて大仏の鑄造を進め、周防国から材木を運んで大仏殿を再建しました。

学生B：かつて日本にきた外国人や外国の技術が日本文化の一端を形作り、それを現在、国内外の人びとがながめて感動するというのはおもしろいことですね。

- 12 -

ていましたね。

先生：訪日外国人が増えすぎて、いくつかの問題も起こっていますが、海外から来た多くの人びとが日本文化を体感し、楽しんでくれているのは、うれしいことですね。外国人の視点からみると、新たな日本文化の側面に光があたる可能性もあります。そうした面から私たちが学んでいきたいものです。

(以上)

- 14 -

2025年度入学試験問題

日本史

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5 mm以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は60分です。
- V 問題は12ページで大問4問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。
2. マークのしかた
 - (ア) 正しい例
 - a 解答が1つの場合 例えばイと解答するときは
 (1) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) のように、マークしてください。
 - b 解答が2つの場合 例えばイとウと解答するときは
 (1) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) または (1) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) のように各1つずつマークしてください。
 - (イ) 悪い例

(1) <input type="radio"/> (イ) <input type="radio"/> (ロ) <input type="radio"/> (ハ) <input type="radio"/> (ニ) <input type="radio"/> (2) <input type="radio"/> (イ) <input type="radio"/> (ロ) <input type="radio"/> (ハ) <input type="radio"/> (ニ) <input type="radio"/> (3) <input type="radio"/> (イ) <input type="radio"/> (ロ) <input type="radio"/> (ハ) <input type="radio"/> (ニ) <input type="radio"/> (4) <input type="radio"/> (イ) <input type="radio"/> (ロ) <input type="radio"/> (ハ) <input type="radio"/> (ニ) <input type="radio"/> (5) <input checked="" type="radio"/> (イ) <input checked="" type="radio"/> (ロ) <input checked="" type="radio"/> (ハ) <input checked="" type="radio"/> (ニ) <input checked="" type="radio"/>	○印でかこむ。 全部をぬりつぶしていない。 L印をつける。 印をつける。 1欄に2つ以上マークする。
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------

 このような記入をしてはいけません。
3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。
 (1) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) のように×印をしても消したことはありません。
4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

【I】 次の(A)～(E)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 3世紀中頃から後半になると、日本列島では巨大な前方後円墳がつくられるようになり、近畿中央部を中心とするヤマト政権が成立したと考えられる。4世紀になると、ヤマト政権は朝鮮半島南部で、地域的な統合を果たしていなかった(1)との関係を深め、先進文物である鉄資源などを入手していた。漢字の使用は出土する刀剣の銘文で確認されており、当時、漢字を使いこなしたのは渡来人だったと考えられる。代表的な渡来人である西文氏は、『論語』『千字文』をもたらしたという(2)の末裔を称している。
- (B) 日本では6世紀に仏教が伝わると、飛鳥時代に仏教文化が花開いた。その中核となったのが寺院である。初の本格的寺院は蘇我氏により建てられた(3)である。また大王(天皇)も仏教寺院を建てるようになり、推古天皇の次に即位した(4)は百濟大寺を築いた。
- (C) 推古天皇が即位すると中国に使者を送った。「日出づる処の天子」から始まる国書を見て皇帝の(5)は無礼な書だと怒りはしたが、翌年倭国に使者を派遣している。倭国からは改めて(6)らの留学生や留学僧を送り、中国の文化や制度を学ばせた。
- (D) 乙巳の変、白村江での敗戦などを経て、日本は次第に中央集権的な国家を目指すようになった。そこで採り入れられたのが律令制度である。694年には、日本で初めての本格的都城といわれる(7)に遷都し、701年には大宝律令がつくられて国家の仕組みが整った。鮮やかな男女の人物像の壁画で有名な(8)古墳も、このころのものと考えられている。

(E) 平城京に関わる優れた文化遺産が、現在にも伝わっている。例えば奈良市にある(9)の東塔や唐招提寺の金堂は、当時の姿を残す建物である。また、東大寺には聖武太上天皇遺愛の品々が(10)によって献納され、現在でも正倉院宝物として見る事ができる。

【語群】

- | | | |
|----------|--------------|-----------|
| (ア) 飛鳥京 | (イ) 興福寺 | (ウ) 光明皇太后 |
| (ロ) 法隆寺 | (ロ) 高向玄理 | (ロ) 高松塚 |
| (キ) 文帝 | (ク) 用明天皇 | (ク) 藤原京 |
| (ニ) 馬韓 | (イ) 高宗 | (シ) 阿知使主 |
| (ス) 薬師寺 | (セ) 元明天皇 | (ノ) 新羅 |
| (ク) 舒明天皇 | (イ) 石舞台 | (ツ) 東大寺 |
| (ケ) 吉備真備 | (ト) 山田寺 | (イ) 王仁 |
| (ニ) 加耶諸国 | (ス) 平城京 | (ネ) 井真成 |
| (ノ) キトラ | (ハ) 飛鳥寺(法興寺) | (ヒ) 藤原不比等 |
| (フ) 煬帝 | (ハ) 弓月君 | (ホ) 皇極天皇 |

〔Ⅱ〕 次の(A)~(E)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 1862年、幕府は洋書調所教官の西周や津田真道を留学生として(1)に派遣した。1863年には、長州藩が密かに5名をイギリスに留学させた。このうち(2)は、ロンドンの大学で学んで1868年に帰国し、政府の鉄道事業に携わった。日本人技師の育成に努め、1880年には京都・大津間の逢坂山トンネルを日本人の手で完成させて、「日本鉄道の父」と呼ばれた。
- (B) 1881年に華族などの出資によって設立された日本鉄道会社は、1891年に上野・(3)間を全通させ、山陽鉄道や九州鉄道なども幹線を建設していった。また、1883年に開業した大阪紡績会社が大规模機械生産に成功すると、紡績会社の設立が相次ぎ、機械制生産が増加したことで、(4)が発明したガラ紡は1890年代に衰退していった。
- (C) 1907年に設立された箕面有馬電気軌道(1918年、阪神急行電鉄に社名変更)は、創業者の一人である(5)のアイデアによって、沿線の住宅開発を進め、1925年からはターミナルの梅田でデパートを直営するなど次々と事業を展開した。また、日本で最初の地下鉄が東京の(6)・上野間で開通したのに続き、大阪でも1933年に地下鉄が開業した。
- (D) 行政や企業で人員整理が行われ、失業者が増加して社会が不安定化する中で、1949年7月から8月にかけて国鉄に関わる事件が続発した。無人電車が駅構内を暴走した(7)もその一つである。その後、国鉄の経営悪化が進んだため、中曽根内閣において、1985年の日本電信電話公社や(8)の民営化に続いて、1987年に国鉄の民営化も断行された。

(E) 東京オリンピックにあわせて、1964年に(9)が開業し、鉄道は高速輸送の時代に入った。また、自家用乗用車が普及する中で、高速道路の建設も進められた。例えば、1969年には(10)が全通し、その後、中国自動車道や東北自動車道なども建設されていき、高速道路網が全国で整備されていった。

〔語群〕

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| (ア) 浅草 | (イ) 井上勝 | (ウ) 日本道路公団 |
| (カ) 東北新幹線 | (キ) 日本専売公社 | (ク) 豊田佐吉 |
| (ク) ロシア | (ケ) 山陽新幹線 | (コ) 青森 |
| (コ) 三鷹事件 | (ク) 関越自動車道 | (シ) フランス |
| (ス) 日本橋 | (セ) 下関 | (ソ) 東名高速道路 |
| (タ) 岩崎弥太郎 | (チ) 砂川事件 | (ツ) 浅野総一郎 |
| (テ) 小林一三 | (ト) 本木昌造 | (チ) 東海道新幹線 |
| (ニ) 新潟 | (ス) 名神高速道路 | (ネ) 銀座 |
| (リ) 川崎正蔵 | (ハ) オランダ | (ヒ) 郵政事業 |
| (ロ) 亀戸事件 | (ヘ) 臥雲辰致 | (ホ) 前島密 |

〔Ⅲ〕 次の(A)~(D)の各史料に関する問1~問15について、(ア)~(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 一 将軍家トハ、右大将家以来、代々(①)政務の君の御事なり。
一 両国司トハ、武蔵・(②)兩國ノ国司の御名なり。将軍家執権の御事なり。執権トハ、政務ノ御代官ナリ。(中略)
一 地頭トハ、右大将家以来、代々将軍家に奉公し、御恩を蒙る人の事なり。
一 新補地頭トハ、(③)兵乱の時、没収の地を以て、所領等を完給はる事なり。地頭得分率法の御事書これあり。
一 御家人トハ、往昔以来、(④)領主として、武家の御下文を賜はる人の事なり。(④)領主トハ根本私領なり。又本領トモ云ふ。
一 非御家人トハ、其の身は侍たりと雖も、当役勤仕の地を知行せざる人の事なり。

〔沙汰未練書〕

- 問1 (①)に入る語句はどれか。
(ア) 鎌倉 (イ) 関東 (ウ) 東国
- 問2 (②)には、執権の多くが国司に就任した国名が入る。それはどれか。
(ア) 相模 (イ) 下総 (ウ) 常陸
- 問3 (③)に入る元号はどれか。
(ア) 保元 (イ) 承久 (ウ) 治承
- 問4 (④)に入る語句はどれか。
(ア) 荘園 (イ) 門田 (ウ) 開発

(B) 若し先づ国土を安んじて、現当を祈らんと欲せば、速かに情慮を廻らし、意いで対治を加へよ。所以は何ん。薬師経の七難の内、五難忽ちに起り二難猶残せり。所以「他国侵逼の難、自界叛逆の難」なり。大集経の三災の内、二災早く顕はれ一災未だ起らず。所以「兵革の災」なり。金光明経の内、種種の災過一一起ると難も、「他方の怨賊国内を侵掠する。」此の災未だ露はれず、此の難未だ来らず。仁王経の七難の内、六難今盛にして一難未だ現せず。所以「四方の賊来つて国を侵すの難」なり。(中略)汝、早く信仰の寸心を改めて、速かに実乗の一善に帰せよ。然れば則ち三界は皆仏国なり、仏国其れ衰へんや。十方は悉く宝土なり、宝土何ぞ壊れんや。國に衰微なく土に破壊なくんば、身は是れ安全にして、心は是れ禪定ならん。此の詞此の言信すべく崇むべし。

- 問5 この史料は日蓮の代表的な著作である。書名はどれか。
(ア) 『興禅護国論』 (イ) 『摧邪論』 (ウ) 『立正安国論』

問6 日蓮はこの著書で信仰と国の方針を示して鎌倉幕府の中心人物に上呈した。この人物は誰か。
(ア) 北条時宗 (イ) 北条義時 (ウ) 北条時頼

問7 下線部⑤「他国侵逼の難」は、この後に起こった重大事件を予言するものとして後世語られた。この事件は何か。
(ア) 霜月騒動 (イ) 文永・弘安の役 (ウ) 刀伊の入寇

問8 下線部⑥「実乗の一善に帰せよ」では、日蓮が教えの中心とする經典への信仰を勧めている。この經典は何か。
(ア) 法華経 (イ) 阿弥陀経 (ウ) 最勝王経

(C) 御合体の事、^{つらつら}連々兼熙卿を以て申し合はせ候の^{じょう}処、^{じょう}入眼の条珍重に候。三種神器^{みゆへ}婦座有るべきの上は、御譲国の儀式を為すべきの旨、其の^{こころ}意を得候。自今以後、兩朝の御流相代はりて御譲位^{じじょう}治定せしめ候ひ畢んぬ。就中、諸国の国^{ことごと}衛は悉く皆御^{はから}計たるべく候。長講堂^{ちやうかう}に於いては、諸国分は一円(⑧)殿の御進止たるべく候。

(吉田文書)

問9 この史料は南北朝の合体を記したものである。この時の南朝の天皇は誰か。

- (ア) 後亀山 (イ) 後村上 (ウ) 長慶

問10 下線部⑦「長講堂」は、院政期の法皇の持仏堂に寄進された荘園群をさす。この院政期の法皇は誰か。

- (ア) 白河 (イ) 後白河 (ウ) 鳥羽

問11 (⑧)に入る語句は何か。

- (ア) 大覚寺 (イ) 持明院 (ウ) 仁和寺

問12 この史料に記されている約束や合体の過程で、実行されなかった案件は何か。

- (ア) 兩統迭立 (イ) 三種の神器の婦座 (ウ) 南朝天皇の帰洛

(D) 一 日本ハ(⑨)たる^は処、きりしたん国より邪法を授け候儀、^{はなはだ}太^し以て然るべからず候事。

一 其国郡の者を近付け門徒になし、神社仏閣を打破るの由、前代未聞に候。国郡在所知行等給人に下され候儀は、当座の事に候。天下よりの御法度を相守り、諸事其意を得べき^は処、下々として^{みだ}猥^{くせ}の義曲事の事。(中略)

一 黒船の儀ハ商売の事に候間、各別に候の条、年月を経、諸事先買いたす^⑩べき事。

一 自今以後、仏法のさまたげを成さざる輩ハ、(⑩)の儀ハ申すに及ばず、いづれにてもきりしたん国より往還くるしからず候条、其意を成すべき事。已上

天正十五年六月十九日

(松浦文書)

問13 (⑨)に入る語句はどれか。

- (ア) 仏国 (イ) 遠国 (ウ) 神国

問14 下線部⑩「黒船」を派遣した国はどこか。

- (ア) ポルトガル (イ) オランダ (ウ) フランス

問15 (⑩)に入る語句はどれか。

- (ア) 伴天連 (イ) 船頭 (ウ) 商人

〔Ⅳ〕 次の(A)~(E)各文の(1)~(10)について、最も適当な語句を(ア)~(ウ)の中から選び、その記号をマークしなさい。あわせて、各文の「この地」の位置を、地図上のa~oから選び、その記号をマークしなさい。なお、地図の一部は省略している。

(A) 15世紀、近畿地方を中心に、惣村をもとに結合した農民勢力を中心に、徳政を求めて蜂起する土一揆が頻繁に発生した。1428年、この地の馬借が徳政を主張して借金の帳消しを求めたのをきっかけに、京都近辺では土民と呼ばれる一般民衆が土倉や酒屋・寺院を襲い、売買や貸借の証文を焼き捨てた。1441年に発生した(1) (ア) 嘉吉 (イ) 播磨 (ウ) 正長の徳政一揆は、数万に及ぶ人々が連携して京都を占拠した大規模なものであった。室町幕府はこの一揆勢の要求を認めて、徳政令を発布している。

貨幣経済の発達は金融業者の活動を促し、土倉などの高利貸は都市・農村を問わず社会に浸透しており、しばしば土一揆の襲撃対象となった。また、遠隔地取引の活発化は、海上や河川、陸上交通の発展をもたらしている。東大寺は、(2) (ア) 堺 (イ) 兵庫 (ウ) 尼崎) に入港する船舶への関銭徴収権を幕府や朝廷から認められており、有力な財源の一つとしていた。

(B) 1637年、島原やこの地の領民たちは、領主である松倉氏・寺沢氏による苛酷な年貢取り立てやキリスト教の弾圧に抵抗する一揆を起こした。一揆勢は、益田時貞を大将として、島原の原城跡に立てこもって抵抗した。この地域は、かつてキリシタン大名の有馬晴信・(3) (ア) 黒田孝高 (イ) 小西行長 (ウ) 大村純忠)の領地であったことから、一揆勢には率人となった両者の旧家臣やキリスト教徒が数多く含まれていた。益田時貞の父も(3)の旧臣であった。

この乱を鎮圧した幕府は、1639年にポルトガル船の来航を禁止、1641年には平戸のオランダ商館を長崎の出島に移した。これにより、日本の対外関係は「四つの口」(長崎・対馬・薩摩・松前)を通じて異国・異民族と限定的な交流を持つ、いわゆる「鎖国」状態となった。

ドイツ人の(4) (ア) シドッチ (イ) シーボルト (ウ) ケンペル)は著書

『日本誌』で、日本のこのような対外関係のあり方を、閉ざされた状態であると紹介している。これを元オランダ通詞の志筑忠雄が「鎖国」と訳すのは、1801年のことである。

(C) 江戸時代の百姓は、幕藩領主層による支配が原因で、暮らしや生産活動が大きく損なわれた際、村を単位に広く結集して百姓一揆の実行使に訴えることがあった。17世紀後半には、村々の代表者が百姓全体の要求をまとめて領主に直訴する代表越訴型一揆が増加し、17世紀末には広い地域にわたる大規模な惣百姓一揆も数多くみられるようになる。史実としては不確実だが、代表として一揆を主導し処刑された人々を、義民として伝承する例も各地でみられる。下線の(5) (ア) 多田嘉助 (イ) 榎茂左衛門 (ウ) 佐倉惣五郎)はその代表例である。

1840年11月には、この地の領民たちが、幕府の計画する三方領知替えに反対する大規模な百姓一揆を起こしている。三方領知替えとは、庄内藩酒井氏、長岡藩牧野氏、川越藩松平氏の領知をそれぞれ入れ替えようとするものである。この一揆の様子を記録したものととして、(6) (ア) 『夢の浮橋』 (イ) 『東山桜莊子』 (ウ) 『出潮引汐奸賊聞集記』という全長50メートルに及ぶ長大な絵巻が残されている。

(D) 明治十四年の政変後、国会期成同盟を中心に結成された自由党は板垣退助を党首とし、(7) (ア) イギリス (イ) ドイツ (ウ) フランス)流の急進的な自由主義を主張して、士族や豪農・商工業者に支持された。1882年4月、板垣はこの地で遊説中に暴漢に襲われて負傷した。

自由民権運動の弱体化を図る政府は、1882年に(8) (ア) 集会条例 (イ) 護謄律 (ウ) 保安条例)を改正して政党支部の設置を禁止した。また、襲撃事件以降さらに名声を高めた板垣を穏健化させるために、三井に費用を出させて洋行を援助するなど懐柔策をとった。大隈重信を党首とする立憲改進党は、この洋行費用の出所をめぐって自由党を攻撃したが、自由党側も大隈重信と三隈の関係を非難し、対立した。

(E) 第一次世界大戦中の好景気は人々の生活水準を一定程度押し上げたが、物価高騰により労働者の実質賃金は低下した。また、急激な工業化に伴う都市人口の増加に米の生産が追いつかず米価が上昇していたが、シベリア出兵を当て込んだ米の投機的買占めが米価高騰に拍車をかけている。

1918年7月下旬、この地の女性たちが米の県外移出を阻止しようと港に集まったのをきっかけに米騒動に発展した。この騒動が報道されると、米の安売りを求める動きは全国に波及し、東京・大阪をはじめ38市、153町、177村、約70万人を巻き込む大騒擾となった。政府は軍隊を派遣して鎮圧に当たったが、責任を追及する世論の前に、(9) (ア) 寺内正毅 (イ) 原敬 (ウ) 高橋是清)内閣は総辞職した。

また、大戦中の労働人口の増加は労働運動を高揚させ、労働争議に結び付いた。1921年、(10) (ア) 長崎市 (イ) 神戸市 (ウ) 大阪市)では、市内の二つの造船所(川崎造船所・三菱造船所)をあわせて約35,000人が参加する大規模な労働争議が発生している。

《地図》



(以上)

2025年度入学試験問題

日本史

注意事項


- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5 mm 以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は60分です。
- V 問題は12ページで大問4問です。



マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。






2. マークのしかた


(7) 正しい例

a 解答が1つの場合 例えばイと解答するときは
 のように、マークしてください。

b 解答が2つの場合 例えばイとウと解答するときは
 または  のように各1つずつマークしてください。

(8) 悪い例

	○印でかこむ。	} このような記入をしてはいけません。
	全部をぬりつぶしていない。	
	レ印をつける。	
	ノ印をつける。	
	1欄に2つ以上マークする。	

3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。
 のように×印をしても消したことはありません。

4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔I〕 次の(A)~(E)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 日本人は死者をどのように吊ってきたのだろうか。縄文時代の環状集落の中央には墓地が見られる場合が多く、また、秋田県鹿角市の大湯環状列石のような東日本の各地につくられたストーン＝サークルを、祖先祭祀と結びつける意見もある。この頃の埋葬法は(1)が主で、死者の霊が活動することを防ぐためと解釈されていることが多い。

(B) 弥生時代に入ると、墓地は集落の近くに作られ、東日本では死者の骨を土器につめて埋葬する(2)が見られるなど、墓のあり方も多様化していった。弥生時代後期には、大きな墳丘をもつ墓が各地で見られるようになった。岡山県倉敷市の(3)はその代表である。3世紀以降、墳丘はさらに大型化し、西日本を中心に埋葬方法や副葬品などに強い共通性が見られるようになった。この時代を古墳時代という。古墳の墳丘は、さまざまな形、大きさで築かれた。九州では古墳に石人・石馬を立てる独自の文化も見られた。その代表的な古墳は福岡県八女市の(4)である。

(C) 後に日本人の葬送に大きく関わるようになる仏教は、一説では538年に伝来したとされ、奈良時代までの仏教はもっぱら鎮護国家を期待されていた。しかし、いわゆる死者供養が見られないわけではなく、たとえば中宮寺に伝わる「天寿国繪巻」は、(5)の死後、その妃が故人を偲んで作らせたものと伝わっている。

(D) 平安時代になると、新しい仏教が大陸から伝えられた。最澄は南都仏教の政治への介入を嫌った桓武天皇の保護の下、比叡山の延暦寺を拠点として天台宗の教えを広めた。[(6)]を著して、仏教の優位を説いた空海は、入唐して帰国後、南都仏教と協調しながら真言密教の流布につとめた。彼は都を離れた高野山に金剛峰(峯)寺を開いたが、平安京内にも(7)を与えられて活動した。

(E) 鎌倉時代になってからも、仏教界の中心は、南都六宗・天台宗・真言宗の顕密八宗であった。この時代には聖の活動も活発となり、戒律を厳守して仏教の活性化をはかろうとする人びとも出てきた。笠置寺に隠遁した(8)は法相宗をもとにしながら戒律を重視し、明恵は華嚴宗の学僧として京都の(9)を拠点に活動した。また、大陸に渡り、戒律の教えを伝えた(10)は、京都に泉涌寺を開いて公家の帰依を受けた。

〔語群〕

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| (ア) 火葬 | (イ) 叡尊 | (ウ) 極楽寺 |
| (カ) 蘇我馬子 | (ク) 三教指帰 | (ク) 快慶 |
| (キ) 俊苜 | (ケ) 屈葬 | (ケ) 再葬墓 |
| (ク) 西谷3号墓 | (コ) 八角墳 | (シ) 高山寺 |
| (ク) 岩戸山古墳 | (セ) 教王護国寺 | (ソ) 仲展葬 |
| (ク) 建仁寺 | (チ) 貞慶 | (ツ) 運慶 |
| (ケ) 円爾 | (ト) 厩戸皇子 | (テ) 文鏡秘府論 |
| (ニ) 醍醐寺 | (ス) 造山古墳 | (ネ) 四隅突出型墳丘墓 |
| (ク) 橘築墳丘墓 | (ハ) 顕戒論 | (ヒ) 甕棺墓 |
| (ク) 方形周溝墓 | (ヘ) 雪野山古墳 | (ホ) 舒明天皇 |

〔Ⅱ〕 次の(A)・(B)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 幕府はアメリカに続いてロシアとも和親条約を結んだ。この日露和親条約では、下田・箱館に加えて長崎を開港するとともに、(1)島以南を日本領、得撫島以北をロシア領とし、樺太(サハリン)を雑居地とした。明治政府は領土の画定に取り組み、ロシアとの紛争を回避する必要などから、樺太・千島交換条約を結んで樺太をロシアに譲り、千島全島を領有した。

日清戦争後、下関条約によって清が日本に遼東半島を割譲すると、東アジア進出を目指すロシアは、フランス・ドイツを誘って同半島の返還を日本に要求した。この圧力に抗しきれず、日本政府は遼東半島を清に返還したが、ロシアが同半島の旅順・大連を租借したこともあって、日本国民はロシアへの敵意を募らせた。

北清事変を契機として、ロシアは満洲(中国東北部)を占領し、同地域での独占的権益を清に承認させた。これに衝撃を受けた日本では、伊藤博文らがロシアとの「満韓交換」を図る日露協商論を唱えたが、結局、(2)内閣は、イギリスと同盟を締結することで韓国での権益を維持する道を選んだ。当初、日本の国内世論は戦争を好まなかったが、ローマ法学者の(3)をはじめとする東京帝国大学などの七博士や対露同志会が主戦論を主張するなかで、開戦論が高まっていった。

1904年初めに日本とロシアの交渉は決裂し、同年2月に日露戦争が開始された。日本は旅順要塞を陥落させ、バルチック艦隊を撃破するなど勝利を重ねたが、本格的な近代戦を長く続けるだけの国力を持ち合わせておらず、ロシアも国内の革命運動への対応に迫られ、両国ともに戦争の継続が困難となった。そのため、アメリカの(4)大統領の斡旋によって、1905年9月、ポーツマスで日本とロシアは講和条約に調印した。その結果、ロシアは韓国に対する日本の指導・監督権を全面的に認めた。さらに、清からの旅順・大連の租借権、(5)以南の鉄道とその付属の利権、北緯50度以南の樺太と付属の諸島を日本に譲渡するなどした。しかし、日本では賠償金を欠く講和条約に対して国民の不満が爆発し、暴動が発生した。

— 3 —

(B) 1943年に連合国軍が反攻に転じると、同年9月にイタリアが降伏し、1945年5月にはドイツも無条件降伏して日本は孤立した。1945年4月に発足した(6)内閣はソ連に和平の仲介を期待していたが、同年2月の(7)会談では、アメリカ大統領のフランクリン・ローズヴェルト、イギリス首相のチャーチル、ソ連共産党中央委員会書記長のスターリンのあいだで、ドイツの降伏から2～3カ月後のソ連の対日参戦などを内容とする秘密協定が結ばれていた。7月にはポツダム会談を契機として、日本への無条件降伏勧告と日本の戦後処理方針からなるポツダム宣言が発表された。

日本政府によるポツダム宣言の「黙殺」を受けて、アメリカは広島と長崎に原子爆弾を投下した。一方、ソ連は日ソ中立条約を無視して日本に宣戦布告し、満洲などに侵攻した。8月14日、ついに日本はポツダム宣言の受諾を連合国側に通告した。これにより日本は、連合国軍最高司令官総司令部(GHQ/SCAP)の指令・勧告に基づいて日本政府が政治を行う間接統治を受けることとなった。連合国軍最高司令官の諮問機関として対日理事会が東京に設置され、アメリカ・イギリス・ソ連・(8)の代表で構成されたが、アメリカ政府主導で占領政策が推進された。

世界が米ソ二大陣営の「冷戦」に向かうなかで、アメリカは朝鮮戦争で日本の戦術的価値を再認識し、ソ連を除く対日講和、アメリカ軍による日本駐留の継続を構想した。日本国内では、東京大学総長の(9)らや日本社会党・日本共産党が全面講和を主張したが、吉田茂内閣は再軍備の負担を避けて経済復興に専念するため、アメリカを中心とする西側諸国のみとの講和によって独立を回復する道を選んだ。1951年9月、サンフランシスコで講和会議が開催され、日本と48カ国とのあいだでサンフランシスコ平和条約が調印された。翌年4月、条約が発効して日本は独立国としての主権を回復した。この条約の調印と同じ日には日米安全保障条約も調印され、日本は独立後もアメリカ軍を駐留させることとなった。

1955年の自由民主党結成後、これを与党とする(10)内閣は、憲法改正による再軍備を意図して憲法調査会を設置した。その一方で「自主外交」を掲げ、日ソ共同宣言に調印してソ連との国交を正常化した。その結果、日本はソ連の支持を取り付ける形で国際連合への加盟を実現した。

— 4 —

〔語群〕

- | | | |
|------------|-----------|------------------|
| (ア) 小磯国昭 | (イ) ウィルソン | (ウ) 徳積八重 |
| (カ) 桂太郎 | (オ) 国後 | (ク) 鈴木貫太郎 |
| (キ) 長春 | (ク) カイロ | (ケ) 南原繁 |
| (コ) 東久邇宮稔彦 | (サ) 戸水寛人 | (セ) 安倍能成 |
| (ク) 石橋湛山 | (セ) フランス | (ソ) 沢村 |
| (ケ) テヘラン | (ソ) 鳩山一郎 | (タ) ハルビン |
| (コ) 大内兵衛 | (ト) 西園寺公望 | (チ) セオドア・ローズヴェルト |
| (カ) 色丹 | (ニ) オランダ | (テ) 岸信介 |
| (キ) 中国 | (ホ) ヤルタ | (ト) 吉野作造 |
| (ク) 山本権兵衛 | (ヘ) 奉天 | (ニ) グラント |

〔Ⅲ〕 次の(A)～(E)の各史料に関する問1～問15について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) 関東御事書の法

一 質券売買地の事 永仁五年三月六日

右、地頭御家人買得の地に於いては、本条を守り、(①)箇年を過ぐるは、本主取り返すに及ばず。非御家人並びに凡下の輩買得の地に至りては、年紀の遠近を謂はず、本主これを取り返すべし。

関東より六波羅に送らるる御事書の法

一 越訴を停止すべき事

② 右、越訴の道、年を逐って加増す。棄て置くの輩多く濫訴に疲れ、得理の仁猶安堵しがたし。諸人の佗僚、職として此れに由る。自今以後これを停止すべし。(中略)

越訴並びに質券売買地、利銭出挙の事。事書一通これを遣はず。此の旨を守り、沙汰を致さるべきの状、仰せに依て執達件^{くなん こと}の如し。

永仁¹²⁹⁷五年七月廿二日

陸奥守在御判

相模守在御判

③

問1 上の史料は、借金に苦しむ地頭や御家人を救済するために幕府が発布した法令である。(①)に入る語句は何か。

- (ア) 十 (イ) 廿 (ウ) 卅

問2 下線部②の「越訴」について、この史料で使われた越訴の意味に最も近いものは下のどの文か。

- (ア) 徒党を組んで、強硬手段として訴え出ること。
 (イ) 所属の役所を経ずに上級の役所や役人へ直接訴え出ること。
 (ウ) 一度与えられた判決に誤りがあるとして再度訴え出ること。

— 5 —

— 6 —



問3 下線部③の「相模守」は、この法令を發布した執権である。それは誰か。

- (ア) 北条宣時 (イ) 北条貞時 (ウ) 北条時宗

- (B) 此比都ニハヤル物 夜討強盗謀論旨 召人早馬虚騒動
生類遺俗自由出家 俄大名逃者 (中略)
ハサヲ扇ノ五骨 ヒロコシヤセ馬薄小袖 (中略)
弓モ引エヌ(④) 落馬矢数ニマサリタリ (中略)
京鎌倉ヲココキマゼテ 一座ソロハヌエセ連歌 (中略)
犬・田楽ハ関東ノ ホロブル物ト云ナガラ 田楽ハナヲハヤルナリ
茶・香十柱ノ寄合モ 鎌倉釣ニ有鹿ト 都ハイト倍増ス
⑤ (以下略)

問4 (④)には当時の武士が馬に乗って弓を射る訓練のひとつが語句として入る。次のどれか。

- (ア) 犬追物 (イ) 笠懸 (ウ) 流籠馬

問5 下線部⑤は、關犬や田楽を非常に好んで、鎌倉幕府を滅ぼす原因を作った人物を皮肉った部分とされている。その14代執権は誰か。

- (ア) 北条高時 (イ) 北条守時 (ウ) 北条時行

問6 下線部⑥は、茶や香の種類を当てる寄合が、鎌倉だけではなく京都でも流行していたことが皮肉られている。留学先の中国から茶の製法や文化を伝え、茶の効能の書を著した人物は誰か。

- (ア) 忍性 (イ) 栄西 (ウ) 道元

(C) [(⑦)二年正月二十九日]或人曰はく。播磨国の土民、旧冬の京辺の如く蜂起す。国中の侍を悉く攻むるの間、諸庄園代加之守護方の軍兵、彼等の為に或いは命を失ひ、或いは追落さる。一國の騒動希代の法なりと云々。凡そ土民侍をして国中に在らしむべからざる所と云々。乱世の至なり。仍て赤松入道発向し了んぬ者。

問7 上の出来事が起こった(⑦)に入る年号は何か。

- (ア) 嘉吉 (イ) 永享 (ウ) 正長

問8 下線部⑧の「赤松入道」は、赤松満祐のことである。のちに彼は將軍を自分の屋敷に招いて殺害する事件を起こした。そのときに殺害されたのは、誰か。

- (ア) 足利義量 (イ) 足利義教 (ウ) 足利持氏

問9 上の文が載っている史料は、何か。

- (ア) 『薩戒記』 (イ) 『看聞日記』 (ウ) 『建内記』

(D) (⑨)大山崎神人等、公事并に土倉役の事、免除せらるる所なり。符又撰州道祖小路・天王寺・木村・住吉・遠里小野并に江州小秋散在の土民等、恣に(⑩)を売買せしむと云々。向後彼の油器を破却すべきの由、仰せ下さる所なり。仍て下知件の如し。
1397
応永四年五月廿六日 沙弥 (花押)

問10 上の文は、ある神社に属する神人たちが公事・土倉役の免除と油の製造販売の独占を主張した史料である。(⑩)に入る神社名は何か。

- (ア) 祇園社 (イ) 石清水八幡宮 (ウ) 北野社

問11 上の文の(⑩)に入る語句は何か。

- (ア) 綿実 (イ) 荏胡麻 (ウ) 菜種

問12 この史料が出された2年後、応永6年(1399)には、ある大名が幕府に反乱を起こして敗れている。誰か。

- (ア) 山名氏清 (イ) 土岐康行 (ウ) 大内義弘

(E) 右今度御檢地に相定むる条々

- 一 六尺三寸の棹を以て、五間六拾間、三百歩(⑪)ニ相極むる事。
- 一 田畠井在所の上中下見届け、斗代相定むる事。
- 一 口米壹石ニ付いて武升宛、其外役夫一切出すべからざる事。
- 一 京升を以て年貢を納所致すべく候。売買も同じ升たるべき事。
- 一 年貢米五里、百姓として持届くべし。其外ハ代官給人として持届くべき事。
1395
慶長三年七月十八日

問13 上の文は、太閤檢地に関わる史料である。(⑪)に入る語句は何か。

- (ア) 壹反 (イ) 壹畝 (ウ) 壹町

問14 下線部⑫の「武升」は現在の容量だとおおよそ何リットルか、答えなさい。

- (ア) 0.9リットル (イ) 1.8リットル (ウ) 3.6リットル

問15 この史料が出された慶長3年(1598)7月頃の豊臣政権は、五奉行と呼ばれた5人が協力して実務を担当していた。次のうち、五奉行ではない人物は誰か。

- (ア) 浅野長政 (イ) 小早川隆景 (ウ) 前田玄以

[IV] 次の(A)・(B)各文の(1)~(10)について、最も適当な語句を下記の語群の中から選び、その記号をマークしなさい。また、各文の下線部①~⑤の出来事はどの時期に起こった出来事か、下記の年表の(a)~(h)から選び、その記号をマークしなさい。

(A) 平安時代中期には、末法思想が広がり、来世に極楽に往生するための教えとして浄土教が広がった。(1)の著書『往生要集』は、地獄の恐ろしさを描写して極楽往生の教えを説いた。貴族たちも往生を願い、藤原道長は阿彌陀堂からはじまり、金堂・講堂を備えた(2)を造営している。息子頼通は、別荘をあらためて平等院を造営した。

鎌倉時代になると浄土教は新たな展開をみせ、法然は[(3)]を著わし、念仏だけが極楽往生への道だと主張した。親鸞は、法然の教えに従い、他力信心こそが重要と説いた。こうした動きは、南都や延暦寺の学僧たちの反発を招き弾圧の対象となった。法然・親鸞は承元の法難で流罪に処せられている。

親鸞を祖とする一向宗(浄土真宗)の門徒は、室町時代以降に大きな勢力となり、蓮如は、越前国(4)など各地に拠点に移して布教を行い、門徒たちは各地に講を組織して道場をつくった。やがて地域の政治・経済にも大きく関わった。

織田信長も天下統一の過程で一向宗と対峙することになり、大坂本願寺とは11年に及ぶ合戦を繰り広げ、本願寺の(5)が勅命講和を受け入れて終結した。

江戸時代には、各宗派の本末制が整備されるが、本願寺は東西の本願寺に分かれて存続した。このもとで一向宗の門徒は各地に末寺を広げ、京都の本山への参詣も盛んであった。

明治になると政府は、神仏分離令を出して、これまでの神仏習合を否定した。さらに大教宣布の詔を出して神道国教化を進めた。これに対して、本願寺派の(6)は信教の自由を訴えてこの動きに抵抗した。

(B) 日本古来の和歌は天皇から民衆に至るまで、さまざまな階層の人々によってよまれた。奈良時代にまとめられた『万葉集』は(7)が編纂に関わったとされ、貴族・官人たちをはじめ防人や民衆の歌も収録されている。

平安時代には、(8)らが最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』の編纂に着手した。この和歌集の影響力は大きく、繊細で技巧が多い内容が学ばれた。

鎌倉時代になると、政治の実権を握った(9)は、『新古今和歌集』の編纂を命じた。武士の中にも和歌を好む人々は多く、3代将軍源実朝は和歌を好み『金槐和歌集』を残している。実朝は暗殺され、将軍としての源氏の血統は絶えるが、その後京都から将軍が迎えられ公家社会の文化がより広まった。

南北朝・室町時代には連歌が盛んになり、大名・国人から町衆や惣村にも広がり、各地で連歌会が催された。(10)が編纂した『菟玖波集』が勅撰に準じた扱いとなり、連歌の規則をまとめた『応安新式』が制定され、和歌とならぶ地位を得た。

江戸時代には、契沖が『万葉集』の考証を行い、のちの国学の発展の基礎となった。また、良寛のように諸国を行脚して和歌や漢詩を作る人物もいた。

〔語群〕

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| (ア) 慶滋保胤 | (イ) 法成寺 | (ウ) 教行信証 |
| (カ) 吉崎 | (キ) 大伴家持 | (ク) 空也 |
| (ク) 大江巨房 | (ケ) 二条良基 | (コ) 鳥地黙雷 |
| (コ) 小浜 | (ケ) 後醍醐上皇 | (ク) 清沢満之 |
| (カ) 菅原道真 | (キ) 覚如 | (ク) 尊勝寺 |
| (ク) 選択本願念仏集 | (キ) 紀貫之 | (ク) 後鳥羽上皇 |
| (ケ) 石上宅嗣 | (ト) 日本往生極楽記 | (ケ) 実悟 |
| (ニ) 一条兼良 | (ス) 源信 | (ホ) 土御門上皇 |
| (ノ) 法勝寺 | (ハ) 井上円了 | (ヒ) 太安万侶 |
| (フ) 顕如 | (ヘ) 吉田兼俱 | (ホ) 金沢 |

《年表》

894年	遣唐使の派遣を停止 (ア)
1028年	平忠常の乱が起こる (イ)
1199年	源頼朝死去 (ウ)
1350年	親応の擾乱が起こる (エ)
1467年	応仁の乱が起こる (オ)
1584年	小牧・長久手の戦い

(以上)

2025年度入学試験問題

日本史

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)〈シャープペンシルは、HB 0.5 mm以上の芯であれば使用可〉で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は60分です。
- V 問題は12ページで大問4問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。
2. マークのしかた
 - (ア) 正しい例
 - a 解答が1つの場合、例えばイと解答するときは
 (1) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) のように、マークしてください。
 - b 解答が2つの場合、例えばイとウと解答するときは
 (1) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) または (1) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) のように各1つずつマークしてください。
 - (イ) 悪い例
 - (1) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) ○印でかこむ。
 - (2) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) 全部をぬりつぶしていない。
 - (3) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) レ印をつける。
 - (4) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) |印をつける。
 - (5) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) 1欄に2つ以上マークする。

このような記入をしてはいけません。

 3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。
 (1) (イ) (ロ) (ハ) (ニ) のように×印をしても消したことはありません。
 4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔I〕 次の(A)~(J)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 明治期の繊維産業の工場労働者は女性が大半をしめ、厳しい労働環境におかれることが多かった。長野県諏訪地方の大規模な(1)工場には、各地から工女が集まった。
- (B) 産業革命期の炭鉱では、飯場(納屋)制度のもと鉱夫は過酷な労働を強いられた。雑誌『日本人』は、(2)における炭鉱労働者の虐待の問題を取り上げて反響を呼んだ。
- (C) 1877年に(3)が買収した足尾銅山では、精錬技術の近代化により銅産出量が増加したが、鉱毒による多大な被害が生じて足尾銅毒事件として社会問題化した。
- (D) 愛媛県にある(4)は江戸時代から住友が経営した鉱山で、明治以降に住友財閥の母体となったが、精錬所の煙害が1890年代に問題化した。
- (E) 昭和恐慌後の重化学工業化の中で、新興財閥が発展した。(5)が創設した日本窒素肥料の熊本県水俣工場の生産活動は、第二次世界大戦後も引き継がれ、水俣病の原因となった。
- (F) 第二次世界大戦後には、労働者を保護する基本的な法律があいついで定められた。このうち1945年に制定された(6)では、労働者に争議権などを認めている。
- (G) 高度経済成長期には、産業公害の問題も深刻化した。公害を批判する世論が高まるなか1967年に(7)が制定され、事業者・国・地方自治体の責任などが明確化された。

- (H) 高度経済成長期には四大公害訴訟が始まり、いずれも1973年までに被害者側が勝訴した。富山県神通川流域で発生したイタイイタイ病は、(8)が原因であった。
- (I) 1980年代後半に生じた(9)では、地価や株価が暴騰する一方、極端な長時間労働が慢性化して社員の過労死が社会問題となった。
- (J) 現代社会では、地球温暖化が深刻な問題となっている。1997年に(10)で開かれた気候変動枠組条約締約国会議では、先進国の温室効果ガス排出削減目標が定められた。

〔語群〕

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| (ア) 野口遼 | (イ) 環境基本法 | (ウ) 労働関係調整法 |
| (カ) 織物 | (オ) カドミウム | (ク) 製糸 |
| (キ) 鮎川義介 | (ク) 川崎正蔵 | (ケ) バリ |
| (コ) 有機水銀 | (サ) 筑豊炭田 | (セ) 公害対策基本法 |
| (ク) コペンハーゲン | (セ) 列島改造ブーム | (ソ) 浅野総一郎 |
| (ケ) 京都 | (チ) 自然環境保護法 | (ツ) 院内銀山 |
| (コ) 高島炭鉱 | (ト) 労働組合法 | (テ) 別子銅山 |
| (ク) 三池炭鉱 | (ニ) 紡績 | (ネ) 大河内正敏 |
| (ケ) 平成不況 | (ハ) 亜硫酸ガス | (ヒ) バブル経済 |
| (コ) 労働基準法 | (ヘ) 古河市兵衛 | (ホ) 阿仁銅山 |

〔Ⅱ〕 次の(A)～(C)各文の(1)～(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 仏像の製作には、さまざまな技法が用いられた。飛鳥時代は、(1)様式の影響を受けた法隆寺金堂釈迦三尊像など、金銅像が多かったが、奈良時代になると、木の芯に粘土を盛り付け造形した塑像が登場する。(2)は、この技法による傑作として名高い。また、木の芯に麻布を貼り漆で塗り固める乾漆像も盛んに作られた。平安時代初期には一木造が主流になるが、頭から足まで一本の木から彫り出す高い技術が必要とされた。(3)はその代表作である。やがて平安時代中期に定朝が寄木造の技法を完成させると、作業の分担が可能になり、仏像の大量生産が進んだ。
- (B) 平安時代には、国風文化の発達により、美術においても日本風の様式が確立した。絵画では、大和絵と詞書が一体になった絵巻物が制作された。応天門の変を描いた『(4)』は、人物の表情や動きを巧みに表現している。また仮名文字が成立し、和歌集や日記など多くの文学作品が著わされた。『古今和歌集』には(5)や小野小町など六歌仙と呼ばれた歌人が紹介されている。書では和様の書風が確立し、その名手とされる(6)・藤原佐理・藤原行成は、三跡(蹟)と称された。
- (C) 武士が台頭する鎌倉時代になると、現実の世界を重視する傾向が強まる。(7)父子は、大和絵の技法で人物の特徴を写實的・記録的に描く似絵を完成させた。(8)を開いた法然の布教の旅を描いた『法然上人絵伝』は、生き生きとした人物の表現が高く評価されている。また、『一遍上人絵伝』の(9)回福岡の場面では、市の様子が詳しく描かれており、当時の庶民の生活の様子がうかがえる。武具の需要の高まりとともに工芸技術も発展し、京都の(10)などの刀工による名作が生まれた。

— 3 —

〔語群〕

- | | |
|-------------------|----------------|
| (ア) 菅原道真 | (イ) 北魏 |
| (ウ) 唐招提寺金堂盧舎那仏像 | (ロ) 春日権現験記絵 |
| (エ) 法界寺阿彌陀如来像 | (ハ) 曹洞宗 |
| (キ) 僧正遍昭 | (ニ) 伴大納言絵巻 |
| (ク) 住吉如慶・具慶 | (ヒ) 信濃 |
| (ケ) 東大寺法華堂不空罽索観音像 | (ホ) 紀貫之 |
| (コ) 筑前 | (セ) 新薬師寺十二神将像 |
| (サ) 百濟 | (シ) (岡崎)正宗 |
| (シ) 神護寺薬師如来像 | (ス) 橋逸勢 |
| (セ) 新羅 | (ト) 藤原公任 |
| (ソ) 臨濟宗 | (ニ) 藤四郎(栗田口)吉光 |
| (タ) 小野道風 | (ネ) 藤原隆信・信実 |
| (チ) 浄土宗 | (ノ) 東大寺僧形八幡神像 |
| (ツ) 備前 | (ハ) (長船)長光 |
| (テ) 平治物語絵巻 | (ヘ) 狩野正信・元信 |

— 4 —

〔Ⅲ〕 次の(A)～(C)の各史料に関する問1～問15について、(ア)～(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

(A) 今晨、香嚴院に於いて叔和西堂語りて云く。今月五日越前府中に行く。其れ以前越前の合力勢賀州に赴く。然りと雖も、一揆衆二十万人、(②)が城を取り回く。故を以て、同九日城を攻め落さる。皆生害して、(②)一家の者一人これを取り立つ。

〔藤涼軒日録〕

問1 この史料は、藤涼軒の僧が記した公用日記のうち、長享2年(1488)6月25日の記事である。藤涼軒はどここの寺の中にあった建物か。

- (ア) 建仁寺 (イ) 天竜寺 (ウ) 相国寺

問2 下線部①の「一揆衆」とは、一向一揆のことである。この史料が述べる地域で布教につとめ、一向宗の信者を大幅に増やした本願寺第8世の僧は誰か。

- (ア) 蓮如 (イ) 親鸞 (ウ) 顕如

問3 文中の(②)には守護の苗字(名字)が入る。それは何か。

- (ア) 朝倉 (イ) 富樫 (ウ) 赤松

問4 一向宗の寺院や道場を中心に形成された都市は寺内町と呼ばれる。次のうち寺内町はどれか。

- (ア) 山科 (イ) 長野 (ウ) 山田

問5 この史料について述べた文として正しいものは、次のうちどれか。

- (ア) 一揆勢に攻められる守護を、越前からの援軍が救出した。
 (イ) 一揆勢が守護の城を落とすと、城内の者はみな逃亡した。
 (ウ) 一揆勢は、倒した守護の一族の者を新たな守護に擁立した。

— 5 —

(B) 一 ^(第二集)大名小名、在江戸交替、相定ル所也。毎歳夏(③)中參勤致スベシ。(後略)

一 ^(第六集)私ノ関所、新法ノ津留、制禁ノ事。

一 ^(第七集)五百石以上ノ船停止ノ事。

寛永十二年六月廿一日 御朱印

〔御触書宛保集成〕

問6 この史料は、林羅山が起草した武家諸法度である。藤原惺窩に学んだ羅山と同じ学派に属する朱子学者は誰か。

- (ア) 熊沢蕃山 (イ) 木下順庵 (ウ) 山崎闇斎

問7 文中の(③)に入る語句は何か。

- (ア) 四月 (イ) 七月 (ウ) 十月

問8 下線部④の「関所」について、幕府が中山道に設置した場所はどこか。

- (ア) 栗橋 (イ) 碓氷 (ウ) 小仏

問9 下線部⑤の「五百石以上ノ船」は、ペリー来航後の嘉永7年(1854)に武家諸法度が一部改正されて、建造が解禁された。そのときの将軍は誰か。

- (ア) 徳川慶喜 (イ) 徳川家定 (ウ) 徳川家斉

問10 この法令が出される前後の3つの出来事のうち、2番目に起こったものはどれか。

- (ア) キリシタンの百姓らが島原・天草で蜂起した。
 (イ) スペイン船の日本来航が禁じられた。
 (ウ) 奉書船以外の日本船の海外渡航が禁じられた。

— 6 —

(C) (⑥) 御開港、外国貿易仰せ出され候ニ付、諸商人共一己の利徳ニ泥み、競而相場糶上げ、荷元を買受け、直ニ御開港場所江相廻し候ニ付、御府内入津の荷物相減じ、諸色私底ニ相成り、難儀致し候趣 相聞候ニ付、当分の内左の通り仰せ出され候。

一 雜穀 一 水油 一 (⑧) 一 呉服 一 糸

右の品々ニ限り、貿易荷物の分者、都而御府内より相廻し候筈ニ候間、在々より決而(⑥)表江積出し申す間敷候。(後略)

(『統徳川夷紀』)

問11 この史料は、万延元年(1860)閏3月に幕府より出された法令である。そのときの老中で、公武合体の政策を進めたのは誰か。

- (ア) 安藤信正 (イ) 阿部正弘 (ウ) 堀田正睦

問12 文中の(⑥)に入る地名は何か。

- (ア) 横浜 (イ) 下田 (ウ) 神奈川

問13 下線部⑦の「御府内」とは、江戸のことである。19世紀の江戸では、多くの文学作品が出版されたが、漫画『ドラゴンボール』にも影響を与えたとされる勧善懲悪を基調とした伝奇小説は何か。

- (ア) 『東海道中膝栗毛』 (イ) 『南総里見八犬伝』
(ウ) 『国性(姓)爺合戦』

問14 文中の(⑧)に入る語句は何か。

- (ア) 茶 (イ) 蠟 (ウ) 紙

問15 この史料について述べた文として誤っているものは、次のうちどれか。

- (ア) 商人たちが開港地へ直接商品を送るため、それらが不足して江戸の人々が困っている。
(イ) 幕府は雜穀など5つの商品について、江戸から開港地へ送ることを禁じた。
(ウ) 開港により外国と貿易するようになると、商品の価格が高騰した。

- 7 -

- 8 -

〔IV〕 次の(A)~(E)各文の(1)~(10)について、語群の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。あわせて、各文の下線部の遺跡の位置を、地図のa~jから選び、その記号をマークしなさい。なお、地図の一部は省略している。

(A) 旧石器時代の遺跡は、岩宿遺跡の調査が行われるまで、日本列島には存在しないと考えられていた。在野の考古学者であった相沢忠洋は、1946年に岩宿の関東ローム層と呼ばれる赤土の中から打製石器を発見した。その後、学術調査が行われ、岩宿が(1)旧石器時代の遺跡であることが確認された。各地の旧石器時代の遺跡において、狩猟に使われたナイフ形石器や尖頭器などの打製石器が発見されており、国府遺跡でもナイフ形石器(国府型)が出土した。この遺跡では7世紀の寺院跡も見つかっており、河内国府の一面を占めたものと考えられる。現在まで日本列島で発見された更新世の化石人骨は、山下町第一洞人をはじめ沖縄以南で多く発見されているが、九州以北では理化学的測定法などによる再調査によって、(2)以外の化石人骨は否定されている。

(B) 縄文時代の貝塚が各地で発見されており、貝層から土器や石器、骨角器などが見つかっている。このうち、大森貝塚は、わが国ではじめて科学的な方法による発掘調査を行ったことで有名である。また、鳥浜貝塚では、貝層から箭・弓などの木製品、漁網などの縄製品のほか、ヒョウタンの果皮・種子も発見されており、当時の生活の様子を知ることができる。さらに、各地の遺跡から出土した遺物によって遠方の集団相互で交易を行っていたことが明らかになっている。例えば二上山などで産出する(3)は、石器の原材料として用いられた。このほかの遺跡においても、(4)県を産地とするヒスイや秋田県などで産出するアスファルトはそれぞれ遠隔地まで運ばれており、縄文時代の交易の様子がわかる。

(C) 弥生時代の文化を特徴づけるものとして、水稲農耕と金属器の使用があげられる。各地の遺跡では水田跡や炭化米、木製の農具が発見されており、このうち弥生時代前期の水田跡が確認された最北端の遺跡として、(5)遺跡が知られている。青銅器は、銅剣や銅矛、銅戈が実用的な武器として朝鮮半島から日本列島に伝わり、銅鐸も小型のものが楽器として伝わった。その後、青銅器は国内で生産が行われるようになり、祭祀の道具として大型化していった。青銅器が大量に出土した荒神谷遺跡では、銅剣358本のほか、銅鐸6個、銅矛16本が埋納された状態であった。弥生時代の人々の墓制としては、土坑墓や木棺墓、箱式石棺墓などがある。近畿地方を中心として出現した(6)は、そのうち九州から東北地方まで広く分布する。弥生時代後期になると、大規模な墳丘を持つ墓が出現しており、こうした大型墳丘墓の出現は、各地に強力な支配者が登場したことを示している。

(D) 古墳時代に入ると、各地で前方後円墳が築造された。古墳時代前期には、長い木棺を納めた竪穴式石室を埋葬施設として、副葬品には銅鏡や石製品などの呪術的、宝器的なものが多く副葬された。全長約130mの前方後円墳である墨塚古墳では、竪穴式石室から全国最多の33面もの三角縁神獣鏡が出土した。また(7)県神原神社古墳では、「景初三年」銘を持つ三角縁神獣鏡が出土した。この景初3年(239)という年は、卑弥呼が魏に使臣を遣わした記録とも一致することから、三角縁神獣鏡を卑弥呼が魏から授かった銅鏡とみる説がある。このほか、朝鮮半島との対外関係を表すものとして、奈良県石上神宮所蔵の七支刀がある。表裏両面に金象眼の文字が刻まれており、その銘文の内容から、(8)王の世子(太子)が倭王に贈ったものとされる。

- 9 -

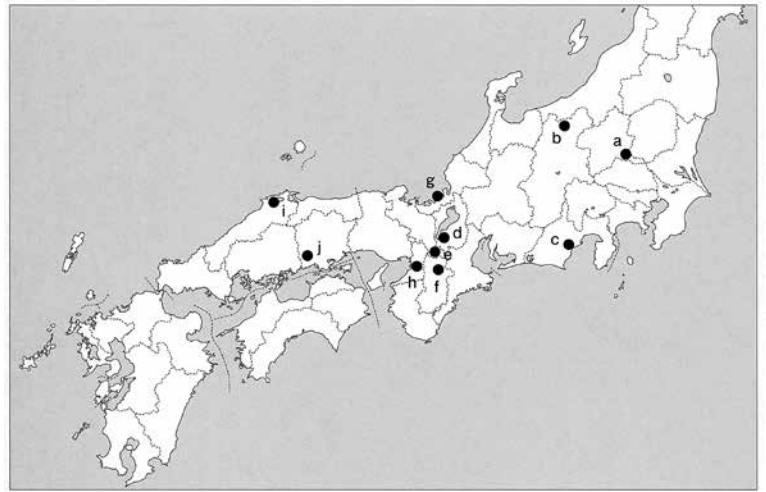
- 10 -

(E) 古墳時代中期の5世紀には、百舌鳥・古市古墳群を中心に、各地で巨大な前方後円墳が築造された。太田天神山古墳や造山古墳、女狭穂塚古墳のように、近畿中央部以外でも巨大な前方後円墳が築造されており、これらの地域の勢力が、ヤマト王権において重要な位置を占めていたと考えられている。この時期は、中国や朝鮮半島との交渉も盛んに行われた。朝鮮半島南部をめぐる外交・軍事上の立場を有利にするため、5世紀初めから約半世紀近くのあいだ、讃・珍・済・興・武と記された倭の五王が中国南朝の(9)に朝貢している。また、朝鮮半島から多くの渡来人がやって来て、さまざまな技術や思想などが伝えられた。古墳時代後期に入ると、近畿中央部を除いて、前方後円墳の規模が縮小していった。また、新しい墓制である横穴式石室が普及した。今城塚古墳は全長約190mの前方後円墳であるが、発掘調査の成果から、(10)天皇(大王)を被葬者とみる説が有力である。発掘調査では埴輪祭祀場も見つかっており、葬送儀礼の様子を再現したものと考えられている。

〔語群〕

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| (ア) 長野 | (イ) 高句麗 | (ウ) 甕棺墓 |
| (エ) 葛生人 | (ロ) 砂沢 | (ク) 宋 |
| (カ) 新潟 | (ク) 欽明 | (ケ) 頁岩 |
| (コ) 登呂 | (コ) 黒曜石 | (コ) 雄略 |
| (ス) 浜北人 | (セ) 新羅 | (ロ) 支石墓 |
| (ク) 広島 | (フ) 前期 | (ツ) 青森 |
| (ケ) 方形周溝墓 | (ト) 継体 | (チ) 梁 |
| (ニ) 百濟 | (ヌ) 中期 | (ネ) サヌカイト |
| (ノ) 三ヶ日人 | (ハ) 南齊 | (ヒ) 後期 |
| (フ) 香川 | (ヘ) 島根 | (ホ) 菜罐 |

《地図》



(以上)



2025年度入学試験問題

日本史

注意事項

- I 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- II 解答用紙はすべて黒鉛筆(HB)(シャープペンシルは、HB 0.5 mm以上の芯であれば使用可)で記入することになっています。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
- III 解答用紙右端の出席票に印刷されている受験番号を確認してください。間違いがなければ氏名欄に署名し、切取線から切り離してください。
- IV 試験時間は60分です。
- V 問題は11ページで大問4問です。

マーク記入上の注意

1. 解答欄にマークするときは、HBの黒鉛筆で次の正しい例のように、濃く正確にぬりつぶしてください。
2. マークのしかた
 - (ア) 正しい例
 - a 解答が1つの場合、例えばイと解答するときは
 (1) (イ) (ウ) (エ) のように、マークしてください。
 - b 解答が2つの場合、例えばイとウと解答するときは
 (1) (イ) (ウ) (エ) または (1) (イ) (ウ) (エ) のように各1つずつマークしてください。
 - (イ) 悪い例

(1) <input type="radio"/> (イ) <input type="radio"/> (ウ) <input type="radio"/> (エ) <input type="radio"/>	○印でかこむ。	}	このような記入をしてはいけません。
(2) <input type="radio"/> (イ) <input type="radio"/> (ウ) <input type="radio"/> (エ) <input type="radio"/>	全部をぬりつぶしていない。		
(3) <input type="radio"/> (イ) <input type="radio"/> (ウ) <input type="radio"/> (エ) <input type="radio"/>	レ印をつける。		
(4) <input type="radio"/> (イ) <input type="radio"/> (ウ) <input type="radio"/> (エ) <input type="radio"/>	印をつける。		
(5) <input checked="" type="radio"/> (イ) <input checked="" type="radio"/> (ウ) <input checked="" type="radio"/> (エ) <input checked="" type="radio"/>	1欄に2つ以上マークする。		
3. 一度記入したマークを訂正する場合は、消しゴムで完全に消してから記入しなおしてください。
 (1) (イ) (ウ) (エ) のように×印をしても消したことはありません。
4. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、また汚したりしないでください。

〔I〕 次の(A)~(E)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 大陸侵攻を志す豊臣秀吉は、(1)国名護屋に城を築いた。文禄元年(1592)には、自ら九州におもむき、小西行長・加藤清正らが率いる約16万人に及ぶ軍勢を朝鮮に派兵している。日本勢が漢城(ソウル)を陥落させ、朝鮮全域に侵攻したとの知らせを聞いた秀吉は、日明貿易の港であった(2)に自らの居所を置く構想を示している。
- (B) 延宝8年(1680)、4代将軍徳川家綱の死去にともない、弟で上野国館林藩主の綱吉が5代将軍職に就いた。綱吉は、湯島聖堂を建てて(3)を大学頭に任じたほか、天文方に渋川春海を、歌学方に北村季吟を登用するなど、儒教や学問を重視したことが知られている。一方、綱吉の時代は佐渡金山などの産出量が減少し、明暦の大火後の江戸城と市街の再建、寺社造営などへの支出により、幕府財政は逼迫していた。そのため、綱吉の下で勘定吟味役(のちに勘定奉行)に登用された荻原重秀は、幕府財政立て直しのため貨幣改鑄を上申して認められ、金の含有量を減らした(4)を発行した。その差額により、幕府は大きな収益を上げたが、この改鑄は通貨流通に混乱を生じさせ、物価高騰を引き起こした。
- (C) 10代将軍徳川家治の下で、(5)から老中へと進み、幕府政治の中核を担うようになったのが、田沼意次である。田沼は、都市や農村の商人・職人の仲間を株仲間として公認し、運上や冥加などの営業税の増収を図ったほか、江戸や大坂の商人の力を借りて印旛沼・手賀沼の大規模な干拓を行うなど、新田開発にも取り組んだ。また、仙台藩医の工藤平助の意見書『赤蝦夷風説考』を取り入れて、ロシアとの交易や蝦夷地開発を計画し、(6)らを蝦夷地調査に派遣した。

- (D) 老中首座水野忠邦は12代将軍徳川家慶のもとで幕政改革を行ったが、この頃、藩藩においても有能な中・下級の藩士を登用して、藩政改革を成功させる例もみられるようになる。薩摩藩では(7)を家老に登用して、莫大な借財の返済を250年賦とすることで事実上棚上げし、黒砂糖の専売強化や琉球を通じた密貿易により藩財政の再建を図った。長州藩では、村田清風を登用して藩債の整理などを行い、紙や蠟の専売制を改革した。また、(8)に越前方を設けて、北前船などの廻船を相手に、積荷を抵当にした金融や、本来、上方に運ばれる積荷を買い取り、委託販売することなどで莫大な利益を上げた。
- (E) 近代的な軍隊の創設を目指す政府は、明治5年(1872)に徴兵告諭を發布した。さらに翌年1月には告諭に基づき、国民皆兵を原則とする徴兵令を公布した。これによって、満(9)に達した男性には兵役の義務が課されることになった。だが、多くの免役規定があったため、実際に兵役を負担したのは、ほとんどが農村の二男以下であった。同じ頃、警察制度の整備も進んだ。明治6年に新設された(10)省によって、全国の警察制度が整備され、明治7年には東京に警視庁が設置された。

〔語群〕

- | | | |
|----------|----------|----------|
| (ア) 若年寄 | (イ) 調所広郷 | (ウ) 寧波 |
| (キ) 肥前 | (ケ) 伊能忠敬 | (ク) 林羅山 |
| (ク) 元文小判 | (コ) 徳山 | (ケ) 横井小楠 |
| (コ) 天津 | (カ) 側用人 | (シ) 下関 |
| (ク) 林鶯峰 | (セ) 筑前 | (フ) 司法 |
| (ク) 内務 | (チ) 最上徳内 | (ツ) 15歳 |
| (ケ) 18歳 | (ト) 広州 | (ナ) 元禄小判 |
| (ニ) 西郷隆盛 | (ヌ) 兵部 | (ネ) 勘定奉行 |
| (ノ) 正徳小判 | (ヘ) 20歳 | (ヒ) 林鳳岡 |
| (ヲ) 間宮林蔵 | (ホ) 宇部 | (ヘ) 豊前 |



〔Ⅱ〕 次の(A)~(H)各文の(1)~(10)に入れるのに最も適当な語句を下記の語群から選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 11世紀後半以降の院政期において、京都郊外の白河の地に、いずれも「勝」の字がつく6寺の御願寺が建てられた。なかでも白河天皇が創建した(1)には、高さ80メートルをこえる八角九重の木造塔がそびえ立っていたという。
- (B) 院政期には、上皇の仏教信仰や寺社勢力の活動などもあり、仏教文化は地方へも広がった。平泉では、奥州藤原氏の3代秀衡が、京都近郊の宇治の平等院を模して(2)を造立している。
- (C) 鎌倉時代になると、内乱で焼失した南都の東大寺や興福寺で復興事業がなされた。東大寺では短期間で建造が可能な新しい様式が採用された。一方、興福寺ではこれまで我が国にあった伝統的な様式で再建工事が進められた。境内にのこる当時の建物として、東大寺では(3)がある。貫を多用し、長い柱に差し込まれた榑肘木が軒を支える、二重屋根の大規模な門である。また興福寺では三重塔および、本尊弥勒如来坐像や無著像・世親像などを祀る(4)の2棟が挙げられる。
- (D) 永和4年(1378)、室町幕府の3代将軍足利義満は、京都の北小路室町に通称「(5)の御所」と呼ばれる邸宅をかまえ、そこを政治の中心とした。応永4年(1397)、義満は京都北山に山荘を営んだ。義満の死後、山荘は禪寺に改められ(6)となった。山荘の庭園に建てられた舍利殿は、「金閣」とよばれている。
- (E) 文明14年(1482)、8代将軍足利義政は、京都東山に山荘を営んだ。義政による当時の建物のほとんどはその後消失したが、2棟のみ現存し、いずれも国宝に指定されている。一つは観音殿(通称「銀閣」)であり、もう一つは義政の持仏堂の(7)である。

— 3 —

〔Ⅲ〕 次の(A)~(C)の各史料に関する問1~問15について、(ア)~(ウ)の中から最も適当な語句を選び、その記号をマークしなさい。

- (A) 其の法を犯すや、輕き者は其の妻子を没し、重き者は其の門戸および宗族を没す。尊卑各々差序あり、相臣服するに足る。租賦を収むに邸閭あり。国々に市あり。有無を交易し、大倭をして之を監せしむ。
女王国より以北には、特に一大率を置き、諸国を檢察せしむ。諸国之を畏懼す。常に(①)に治す。國中において刺史の如きあり。王、使を遣して京都・帶方郡・諸韓國に詣り、および郡の倭國に使用するや、皆津に臨みて搜露し、文書・賜遺の物を伝送して女王に詣らしめ、差錯するを得ず。
(③)、(④)と道路に相逢へば、逡巡して草に入り、辞を伝へ事を説くには、或は蹲り或は跪き、両手は地に擬り、之が恭敬を為す。
(〔魏書〕東夷伝倭人条)

- 問1 (①)には一大率が置かれた国名が入るが、どこか。
(ア) 伊都国 (イ) 狗奴国 (ウ) 奴国
- 問2 下線部②の「京都」とは、どこか。
(ア) 建業 (イ) 長安 (ウ) 洛陽
- 問3 (③)と(④)に入る語句として、正しい組合せはどれか。
(ア) ③生口 ④下戸 (イ) ③下戸 ④大人 (ウ) ③生口 ④大人

— 5 —

- (F) 足利義政のまわりには(8)と呼ばれる人々が仕え、能・茶の湯・立花・作庭など東山文化の形成に寄与した。『足利將軍若宮八幡宮參詣繪巻』は彼らの姿も描いた希少な作品といわれている。
- (G) 室町時代から戦国時代にかけて経済活動が多様化の中で、巡礼でにぎわう有名神社には門前町が成立した。伊勢神宮の宇治・山田のほか、琵琶湖水運の要地であった(9)は、延暦寺の門前町として知られている。
- (H) 豊臣秀吉の遺児秀頼と、その母淀殿がたてこもった大坂城は、堀に囲まれた難攻不落の城郭であったという。しかし、慶長19年(1614)の大坂冬の陣、翌年の夏の陣により落城し、豊臣家は滅亡した。この戦いによって戦国時代とそれに続く天下統一へ向けた戦乱は終わり、年号も改元されて「(10)偃武」と呼ばれた。

〔語群〕

- | | | |
|----------|---------|---------|
| (ア) 今井 | (イ) 鹿苑寺 | (ウ) 伽羅 |
| (エ) 無量光院 | (オ) 中門 | (カ) 毛越寺 |
| (キ) 東金堂 | (ク) 法勝寺 | (ケ) 引付衆 |
| (コ) 中尊寺 | (ク) 北円堂 | (シ) 慶長 |
| (ス) 転害門 | (セ) 相国寺 | (ソ) 最勝寺 |
| (タ) 元和 | (テ) 天龍寺 | (ツ) 柳 |
| (チ) 尊勝寺 | (ト) 夢殿 | (ナ) 南大門 |
| (ニ) 同朋衆 | (ハ) 東求堂 | (ネ) 花 |
| (ノ) 坂本 | (ヒ) 合会衆 | (ヘ) 御影堂 |
| (フ) 寛永 | (ホ) 飛雲閣 | (ヘ) 山科 |

— 4 —

- 問4 この史料は、邪馬台国の統治組織や社会について述べているが、次のうち正しいものはどれか。
(ア) 邪馬台国のなかには、いくつかの身分があり、尊卑に従ってそれぞれの序列がはっきりしていた。
(イ) 諸国には市がひらかれ、交易をおこなっていたが、租税制度はまだなかったようである。
(ウ) 法を犯した場合、その軽重によって刑罰が定められていたが、身分によっても刑罰が定められていた。

- 問5 この史料は、陳寿が編纂した『三国志』のうち『魏書』東夷伝倭人条である。陳寿はどの国の人物か。
(ア) 後漢 (イ) 魏 (ウ) 晋(西晋)

- (B) (養老七年四月)辛亥、太政官奏すらく、「頃者、百姓漸く多くして、田池窄狭なり。望み請ふらくは、天下に勅め課せて、田疇を開闢かしめん。其の新たに溝池を造り、開墾を営む者有らば、多少を限らず、給ひて三世に伝へしめん。若し旧き溝池を遂はば、其の一身に給せん」と。奏す。

- 問6 この史料は三世一身法であるが、この法令が公布された時の政権の中心人物は誰か。
(ア) 橘諸兄 (イ) 長屋王 (ウ) 藤原仲麻呂

- 問7 三世一身法が出された背景には、人口の増加により班給すべき口分田が減少し税収が不足したこと、また地方では過重な負担のため浮浪人が増加していたことがある。当時の農民の苦しみを歌ったものに「貧窮問答歌」があるが、誰によるものか。
(ア) 柿本人麻呂 (イ) 山上憶良 (ウ) 大伴旅人

— 6 —



問8 口分田が減少し租税が不足したことは、班田収授制の行き詰まりといえるが、この制度において良民男性の口分田の支給面積はいくらか。

- (ア) 2段 (イ) 4段 (ウ) 6段

問9 三世一身法によって起こった出来事のうち、正しいものはどれか。

- (ア) 墾田の永久私有が許可されたことで、土地公有制の崩壊につながった。
(イ) 農民たちではなく、貴族や寺院が開墾を進めたことにより、私有地拡大が進んだ。
(ウ) 収公期限が近づくと、耕作意欲が減退し墾田が荒廃してしまうという問題が起こった。

問10 この史料の出典は何か。

- (ア) 『日本書紀』 (イ) 『続日本紀』 (ウ) 『日本後紀』

(C) それ往生極楽の教行は、濁世末代の目足なり。道俗貴賤、誰か帰せざる者あらむや。ただし顯密の教法は、其の文、一にらず。事理の業因、其の行惟れ多し。利智精進の人は、未だ難しと為さざるも、子の如き頑魯の者、豈に敢てせむや。

是の故に、念仏の一門に依りて、聊か経論の要文を集む。之を披き之を修すれば、覺り易く行ひ易からむ。惣べて十門あり。分ちて三巻となす。一には厭離(⑦)、二には欣求(⑧)、三には極楽の証拠、四には正修念仏、五には助念の方法、六には別時念仏、七には念仏の利益、八には念仏の証拠、九には往生の諸業、十には問答料簡なり。これを座右に置いて、魔忘に備へむ。
(『往生要集』)

問11 この史料は、念仏による極楽往生の方法を記した『往生要集』であるが、下線部⑤の「往生極楽の教行」を10世紀半ばに京の市で説いた人物が、疫病が流行した際にその沈静を祈願して建てた寺院のうちに何と呼ばれたか。

- (ア) 六波羅蜜寺 (イ) 法界寺 (ウ) 法成寺

問12 下線部⑥の「顯密」とは顯教と密教を指すが、顯教に含まれないものはどれか。

- (ア) 真言宗 (イ) 法相宗 (ウ) 華嚴宗

問13 (⑦)と(⑧)に入る語句として、正しい組合せはどれか。

- (ア) ⑦現世 ⑧浄土 (イ) ⑦穢土 ⑧極楽 (ウ) ⑦穢土 ⑧浄土

問14 浄土教の流行は、末法思想によっていっそう強められた。この思想は釈迦入滅後、正法・像法の世を経て末法の世がくるという説であるが、当時いつから末法の世に入ると考えられていたか。

- (ア) 952年 (イ) 1025年 (ウ) 1052年

問15 末法思想の流行とともに、法華経などの経典を納めた容器(経筒)を地中に埋めた経塚が各地に営まれた。藤原道長が、寛弘4年(1007)に法華経などを経筒に納めて埋めた場所はどこか。

- (ア) 船岡山 (イ) 金峯(峰)山 (ウ) 比叡山

〔IV〕 次の(A)~(E)各文の(1)~(10)について、最も適当な語句を下記の語群の中から選び、その記号をマークしなさい。また、各文の下線部の出来事ほどの時期に起こった出来事か、下記の年表の(あ)~(お)から選び、その記号をマークしなさい。

(A) ロシアでは帝政に反対する労働者らが革命を起こしてロマノフ朝を倒したが、社会は安定せず、ボリシェビキを率いる(1)を首班として世界初の社会主義政権を打ち立てた。だが、まもなく反革命勢力との間で内戦が起こり、革命の波及を恐れる各国も軍隊をシベリアに派遣した。この時、日本は最大規模の派兵を行い、長期にわたって駐兵した。この影響で国内の米の値段が高騰し、各地で米の安売りを求める騒擾が起こった。日本が北樺太を除くシベリアからの撤兵を完了させたのは(2)内閣のときである。

(B) 朝鮮に対する影響力の強化を目指す日本は、朝鮮を属邦とみなす清と対立を深めた。排日と減税を求めた(3)が起こると、朝鮮政府は清に出兵を要請、日本も大軍を派遣した。この後、朝鮮政府の改革をめぐる日清両国の対立が深まり、日清戦争にいたる。日清戦争に勝利した日本は、韓国への影響を強め、ハグ密使事件をきっかけに韓国皇帝の高宗を退位させたが、抗日運動が激化し、現地の(4)を誘った伊藤博文がハルビンで暗殺された。日本は韓国併合条約を成立させ、韓国を植民地化した。

(C) 中国では国民政府と(5)の率いる共産党軍が争い、中華人民共和国が成立した。朝鮮半島では大韓民国(韓国)と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が誕生したが、北朝鮮が韓国に侵攻、朝鮮戦争がはじまった。この戦争に在日アメリカ軍が動員されたことから、それに代わって治安維持を担う組織として(6)が設けられた。

(D) 中国で国権回復の機運が盛り上がると、それに危機感を持った関東軍は、(7)事件を起こし、これを中国が行ったこととして軍事行動を開始した。関東軍は満洲の主だった地域を占領し、事件の約半年後には(8)を執政とする満洲国を建国した。その後も日本は中国北部の5省を自らの支配下に置こうとして中国と対立を深め、ついに北京郊外の盧溝橋で中国軍と衝突し、日中戦争に発展した。

(E) 日本近海にイギリス船などの外国船の出没が増加すると、日本は異国船打払令を出し態度を硬化させた。そのため、日本の漂流民を送還しようとしたアメリカ商船(9)を砲撃する事件も起きている。一方で、アジアの大国であった清はアヘン戦争でイギリスに敗北し、(10)条約を締結して香港などを割譲し、上海など5か所の港を開港することとなった。

〔語群〕

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| (ア) 総督 | (イ) 張学良 | (ウ) ノモンハン |
| (ニ) 機動隊 | (オ) スターリン | (カ) 原敬 |
| (キ) 警察予備隊 | (ク) 壬午事変 | (ケ) フェートン号 |
| (コ) 南京 | (ク) 柳条湖 | (シ) 天津 |
| (ス) 加藤友三郎 | (セ) 北京 | (ソ) 汪兆銘 |
| (タ) 自衛隊 | (チ) 甲申事変 | (ツ) 毛沢東 |
| (テ) 満州某重大 | (ト) フルシチョフ | (ナ) 甲午農民戦争 |
| (ニ) 溥儀 | (ヌ) 統監 | (ネ) レーニン |
| (リ) 蔣介石 | (ヒ) 山本権兵衛 | (ヘ) モリソン号 |
| (ロ) ディアナ号 | (ヘ) 孫文 | (ホ) 都督 |



《年表》

1828年	シーボルト事件が起こる (あ)
1877年	西郷隆盛が政府軍に敗れる (い)
1914年	第一次世界大戦始まる (う)
1925年	普通選挙法が成立する (え)
1941年	太平洋戦争始まる (お)
1951年	サンフランシスコ平和条約を結ぶ

(以上)